




製品仕様	1
安全上のご注意	3
装置各部の安全表示ラベル	6
各部の名称	7
各部名称とはたらき	8
操作ボックス部	8
電気ボックス部	9
操作手順	11
エアーを供給	11
スチームを供給	11
電源を入れる	12
タイマーを設定	12
シャツをセットする	13
作業終了後	21
その他の操作	22
非常停止の解除方法	22
カウンター(仕上げ枚数)のリセット	22
カバーカウンターについて	22
カバー・マット交換手順	23
テスト運転	37
エラー番号一覧表	42
日常点検	46
点検項目	46
点検項目(毎日)	47
点検項目(毎月)	49
点検項目(毎年)	49
チェックリスト	50
スペアパーツリスト	51
1: モーター・機構部	52
2: エアー機器部(1)	54
3: エアー機器部(2)	56
4: スチーム配管部	58
5: センサー・スイッチ部	60
6: カバー部	62
添付図面	64

安全上のご注意

本機を安全に正しくお使いいただき、作業や他の人への危険を未然に防止する為に警告表示ラベルを使用しています。特に重要な場所には、製品の操作箇所にはラベルを貼付して説明しています。この取扱説明書を熟読され、製品のラベルをご覧になり、安全に十分配慮されてご使用ください。

また、取扱説明書はご覧になられた後も大切に保管し、いつでも見られるようにしてください。

- 安全事項のラベル、および取扱説明書の記載内容を見逃して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
	警告	この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
	注意	この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うおそれや物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

	一般 特定しない一般的な注意、警告、危険の示唆。		一般(禁止) 特定しない一般的な禁止事項。
	感電注意 特定の条件において、感電の可能性の示唆。		一般(強制) 特定しない一般的な使用者が行うべき行為を指示。
	手・指の切断注意 カッターなどで、手や指等に障害を負う可能性の示唆。		分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害を負う可能性がある場合の禁止の通告。
	高温注意 高温部位による火傷の可能性を示唆。		必ずアース接続せよ 緑色のアース線を必ず接地接続するための指示。
	指が挟まれないよう注意 ローラーなどで、手や指が巻き込まれて傷害を負う可能性を示唆。		指が挟まれないよう注意 歯車などで、手や指が巻き込まれて傷害を負う可能性を示唆。
	回転物注意 モーター、ファン等の回転部位のガードを外す事によって起こる傷害の可能性を示唆。		

当社は、仕様範囲を超えたご使用に関する如何なる損害も保証しかねます事をご了承ください。



警告

■設置に関して



製品の設置、および移設は最寄りの当社販売代理店に依頼するか、別冊の設置マニュアルに従って正しく設置いただきますよう、お願いします。
必ずアンカーボルトにて、本機を固定してください。

不完全な設置・移設は故障、感電、火傷などの事故の原因になります。

■運転前の確認に関して



製品の運転を行う前に、必ず機械の周辺及び内部に工具・備品などがいないか確認をしてください。

放置されたままで機械を動かしますと、機械の破損、作業者のケガの原因になります。

■アース接続



緑色の線を必ずアースに接続してください。電源は、単相 200V のアース(3 芯の緑色の配線)をご使用ください。

アースが不完全な場合は、感電するおそれがあります。

■水ぬれ禁止



本機外部および内部の各機器類は、雨水や清掃時の水などでぬれないよう、ご注意ください。

感電するおそれがあります。

■可燃物禁止



シンナーなどの可燃物や可燃性ガス・揮発性の高い物を機械内部および周辺に絶対に放置、または使用しないでください。

爆発・火災のおそれがあります。

■分解・改造禁止



機械を分解・改造しないでください。

事故の発生原因になります。

■ぬれた手禁止



電源プラグ・スイッチなどにはぬれた手で触れないでください。

感電のおそれがあります。

■異常時使用禁止



機械に異常を感じた時は、ただちに電源スイッチおよびブレーカーを切断し、販売代理店または当社相談窓口にご連絡ください。

そのまま放置することは大変危険です。

■隙間への異物禁止



各機器や電気ボックスの隙間に指や針金などの金属類を入れないでください。

感電・火災のおそれがあります。

■修理に関して



修理は販売代理店、または当社の相談窓口にご依頼ください。お客様ご自身での分解・修理は絶対におやめください。

不完全な修理は、感電・ケガ・火災・故障などの原因になります。



注 意

■水没の際は



本機が災害などで水没した場合は使用せず、販売代理店または当社相談窓口へ修理・点検を依頼してください。

そのままの使用は、感電・火災のおそれがあります。

■清掃時



本機内部の清掃を行う場合は、必ず電源スイッチを切り、ブレーカーを切断してください。

電源を切断せずに作業すると感電・けがの原因になります。

■電源プラグ・コンセントの清掃・点検



電源プラグ・コンセントは定期的に清掃・点検してください。破損している場合は、販売代理店または当社相談窓口へ修理・交換を依頼してください。

汚れや破損は、感電・火災の原因になります。

■設置スペースは



設置、ご使用の際は、カバーの開閉や消耗品の交換および操作が十分可能な空間をおとりください。

作業中や操作中に装置の一部が身体に当たると、けがをするおそれがあります。

■屋内専用



本機は、屋内専用です。直射日光が当たる場所、直接風雨にさらされるような場所では絶対に使用しないでください。

事故の原因になります。

■安全表示ラベルの管理



本機の安全表示ラベル類は、常に正しく読めるように清掃や貼り替えをしてください。

見にくくなると事故の発生原因になります。

■国外使用禁止



この機械は国内専用です。国外での使用はおやめください。

電源電圧が異なり、火災の原因になります。

■操作手順



正しくお使いいただくために、操作手順を遵守してください。

正しい操作をしないと、機械の故障または作業者のけがの原因になります。

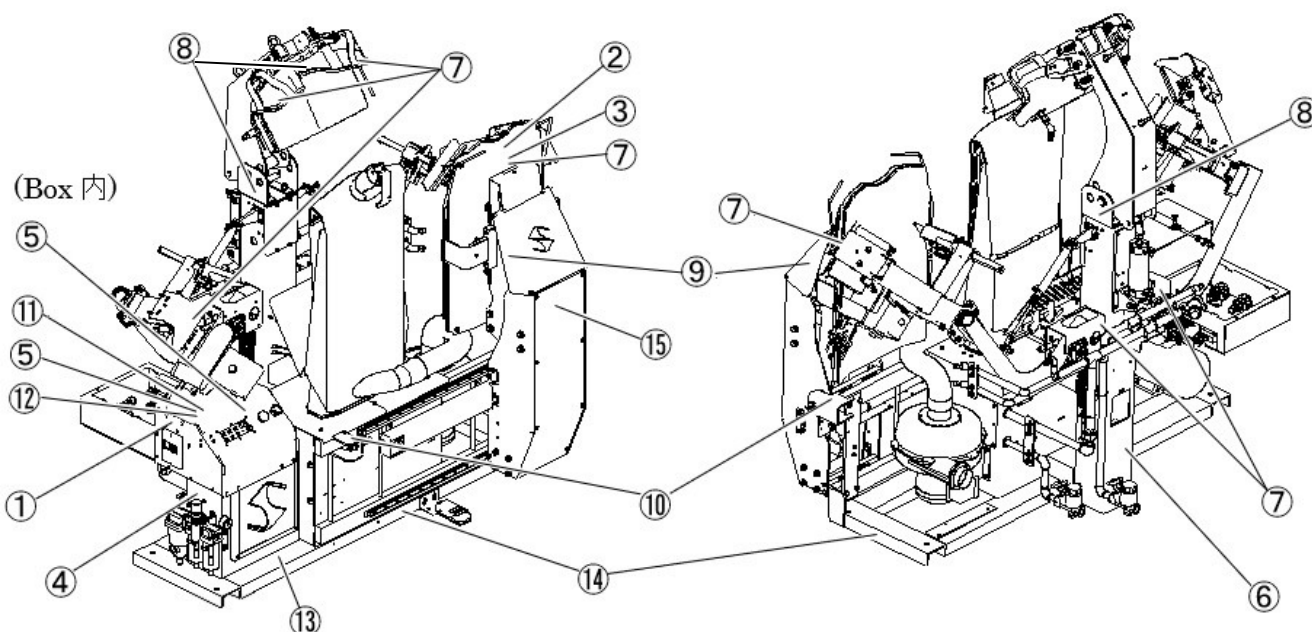
■定期的な清掃



長い間清掃しないとホコリが溜まります。

ホコリが溜まったまま使用しますと、「機械の誤動作」や「機械破損の原因」となります。

装置各部の安全表示ラベル



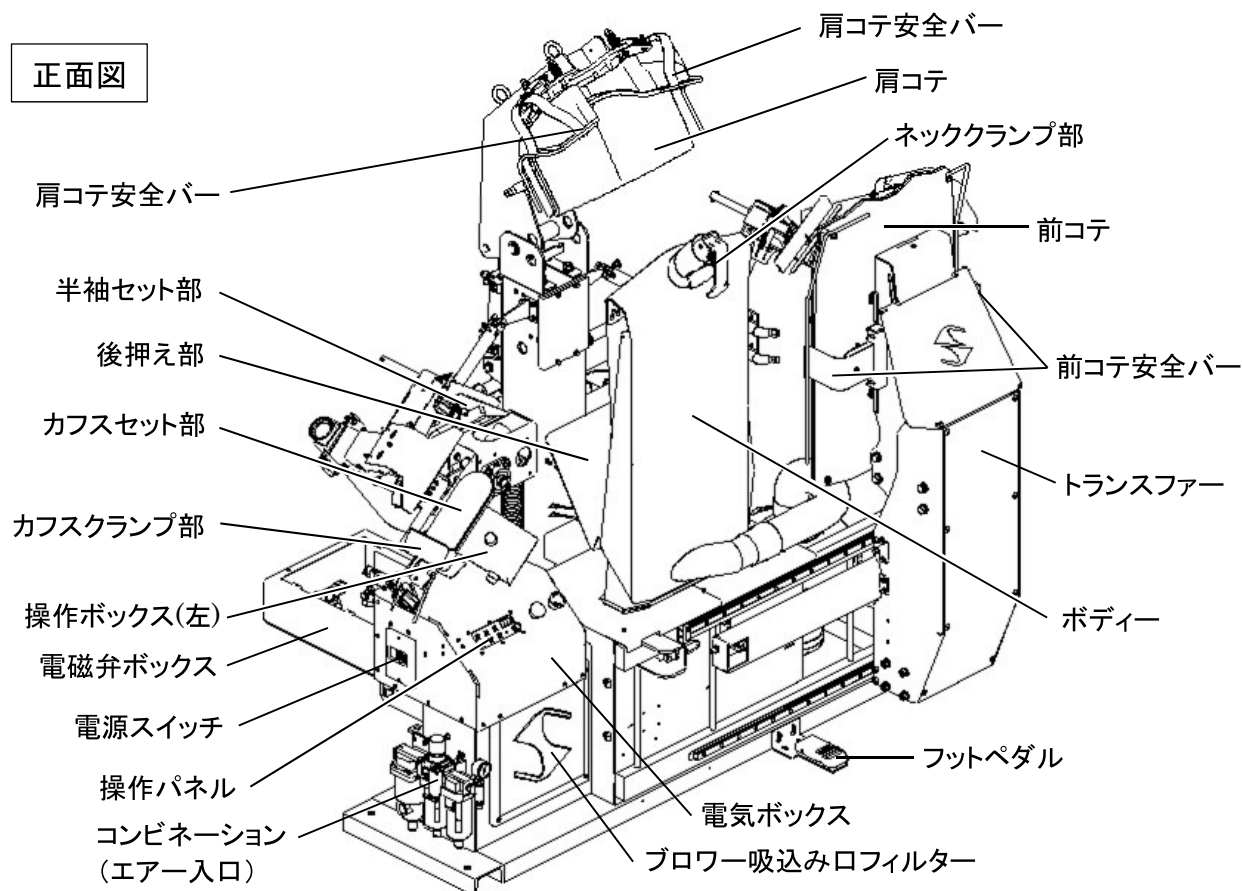
<p>①</p> <div> 危険 DANGER </div> <ul style="list-style-type: none"> ・感電の恐れがあります。 ・電気BOXを開ける前に、必ず電源を切ってください。 	<p>②</p> <div> 警告 (WARNING) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で操作を行って下さい。 ・稼動エリアに決して入らないで下さい。 	<p>③</p> <div> 警告 (WARNING) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・機械動作中は、手を出さないで下さい。 ・稼動部に指や手を挟まれる危険があります。
<p>④</p> <div> エア噴出口につき注意 </div>	<p>エアが噴出するおそれがあります。 修理をする際は、エアバルブを閉めエアを抜いてください。</p>	
<p>⑤</p> <div> 感電注意 </div>	<p>感電のおそれがあります。 電気BOXを開ける時もしくは修理をする際は、事前に電源を切ってください。</p>	
<p>⑥</p> <div> 蒸気噴出口につき注意 </div>	<p>蒸気が噴出するおそれがあります。 修理をする際は、スチームバルブを閉め蒸気を抜いてください。</p>	
<p>⑦</p> <div> 高温注意 </div>	<p>高温で火傷をするおそれがあります。 コテ、蒸気配管、蒸気配管周り等に手を触れないでください</p>	
<p>⑧</p> <div> 手・指を挟まれないよう注意 </div>	<p>手、指がはさまれるおそれがあります、動作中は手を近づけないでください。 修理、清掃の際は電源を切ってください。</p>	
<p>⑨</p> <div> 手・指を挟まれないよう注意 </div>	<p>手、指がはさまれる、もしくは巻き込まれるおそれがあります。 動作中は手を近づけないでください。修理、清掃の際は電源を切ってください。</p>	
<p>⑩</p> <div> 手・指を切らないよう注意 </div>	<p>手、指を切るおそれがありますので、動作中は手を近づけないでください。 修理、清掃の際は電源を切ってください。</p>	
<p>⑪</p> <div> 毎日コテ面を布などで掃除してください </div>	<p>毎日コテ面を布等で清掃してください。</p>	<p>⑮</p> <div> 安全にお取り扱いいただく為に </div> <ul style="list-style-type: none"> ・責任者によって認められた者のみが、この機械を取り扱うことができます。 ・事前に取扱説明書をしっかり読んでからご使用ください。 ・操作前に機械のまわりに人がいないことを必ず確認してください。 ・この機械は一人で操作してください。 ・メンテナンスの際は、エアースチームのバルブを閉めてから作業を行ってください。残圧は放出してください。 (※ スチーム使用機種のみ)
<p>⑫</p> <div> ご使用前に取扱説明書をお読みください </div>	<p>使用前に取扱説明書をよくお読みになってください。</p>	
<p>⑬</p> <div> 毎日フィルターの掃除をしてください </div>	<p>使用前にフィルターの清掃をしてください。</p>	
<p>⑭</p> <div> </div>	<p>センターマークです。 機体の重心を表示しています。</p>	

上記箇所に安全表示ラベルが貼られていることをご確認ください。安全表示ラベルが、欠品または破損して確認できない場合は、必ず販売代理店へ連絡しラベルを取り寄せて貼り付けてください。

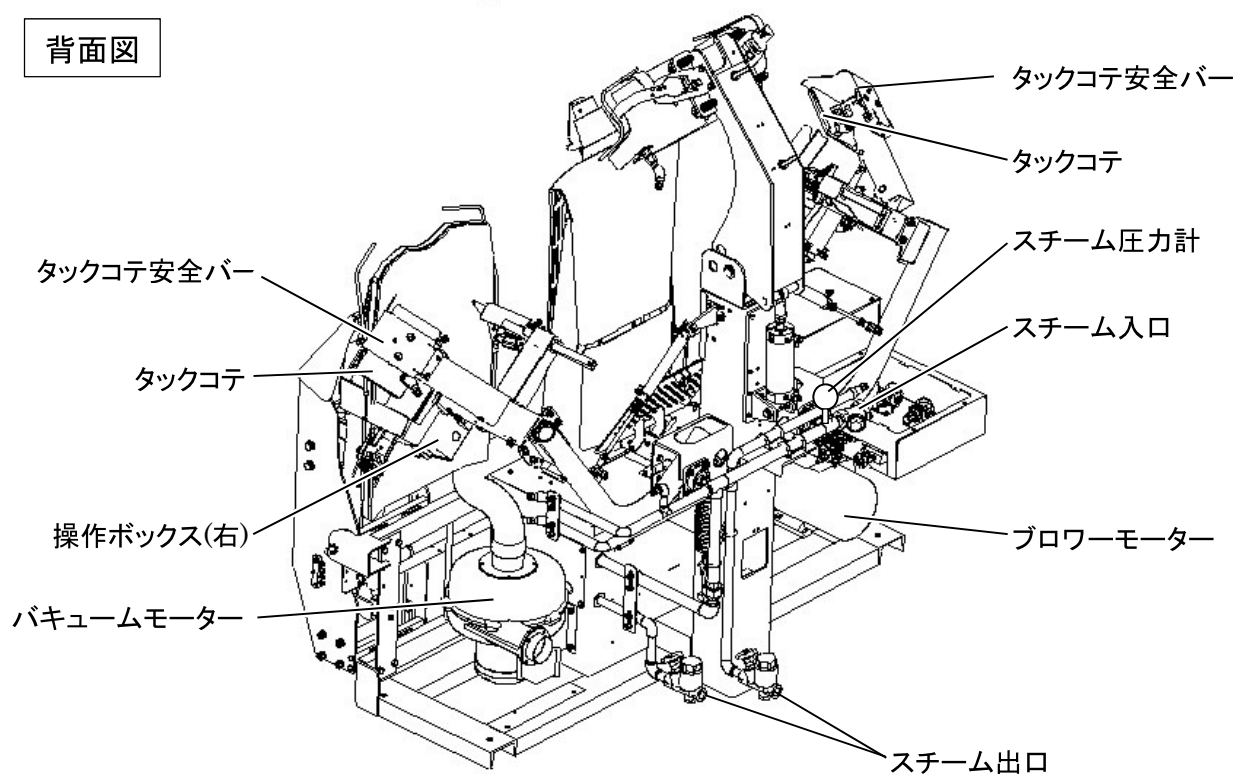
各部の名称

装置本体

正面図

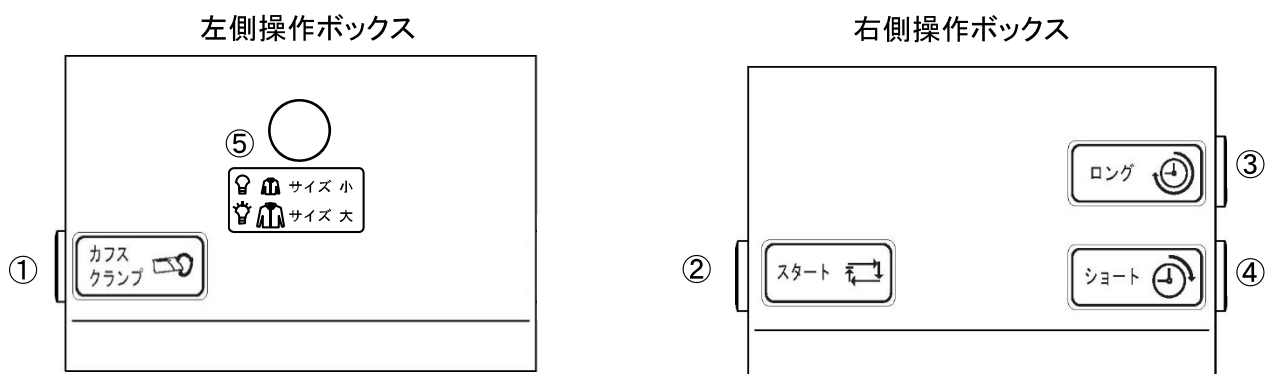


背面図



各部名称とはたらき

操作ボックス部



① 左カフスクランプボタン／スライドスタートボタン

フットペダルにて行程を進め、シャツの後押さえを行った後にこのボタンを押すと、左側のカフスクランプまたは半袖クランプを閉じ、前コテがボディーまで移動します。

② プレススタートボタン

③のロングボタンまたは④のショートボタンを選択した後に、このボタンと同時に押すとプレスを始め自動運転がスタートします。

③ ロングボタン

このボタンには、2つの機能があります。

1. このボタンを押したまま②のプレススタートボタンを押すと、電気ボックス部操作パネルのロング選択ボタンで設定した時間だけプレスを行います。
2. このボタンを押すと、右側のカフスクランプと半袖クランプが閉じます。次の操作を行う前にボタンを離すと、クランプは開きます。

④ ショートボタン

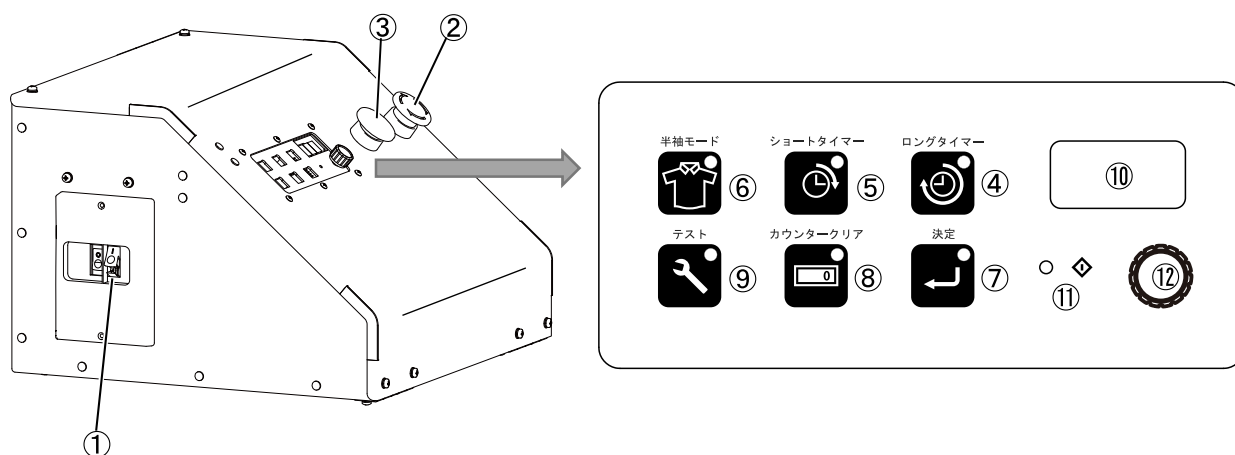
このボタンには、2つの機能があります。

このボタンを押したまま②のプレススタートボタンを押すと、電気ボックス部操作パネルのショート選択ボタンで設定した時間だけプレスを行います。
このボタンを押すと、右側のカフスクランプと半袖クランプが閉じます。次の操作を行う前にボタンを離すと、クランプは開きます。

⑤ サイズ選択ボタン(オンの時緑色のランプが点灯)

このボタンをオンにすると、一番上まで上昇しているスリーブアームが少し開いて、ボディーの肩とカフスクランプ部との間のスペースが広がります。
カフス部(または半袖)がセットしにくい時などに使用できます。

電気ボックス部



① 電源スイッチ

本機の電源のオン／オフを行います。
黒のボタンを押すと電源オンとなり、赤のボタンを押すと電源オフとなります。

② 非常停止ボタン

このボタンを押すと、どの工程においても安全に初期状態へ戻すことができます。非常停止が押されると、ブザーが鳴ります。通常運転に戻す際には、押されたままになっているボタンを時計回り(→方向)へ回して、ロックを解除します。(ブザーが止まります。)
次にリセットボタンを押してください。通常運転が可能となります。

③ リセットボタン

このボタンは、押すタイミングによって3つの機能があります。

1. フットペダルにて工程を進めた際に工程を戻したい時に押すと、1工程ずつ戻すことができます。
2. 非常停止など機械に異常があって機械を停止した際、通常運転に戻す時に使用します。
3. 自動運転中に使用しますと、各タイマーを終了させることができます。

④ ロングタイマーボタン(オンの時緑色のランプが点灯)

このボタンをオンにすることで、⑫の「ダイヤル」を回して、操作ボックスのロングボタンでスタートした時の、プレス時間を変更することができます。
またロングボタンにてプレスをしている時は、このランプが点滅します。

⑤ ショートタイマーボタン(オンの時緑色のランプが点灯)

このボタンをオンにすることで、⑫の「ダイヤル」を回して、操作ボックスのショートボタンでスタートした時の、プレス時間を変更することができます。
またショートボタンにてプレスをしている時は、このランプが点滅します。

⑥ 半袖ボタン(オンの時緑色のランプが点灯)

半袖を仕上げる時に、このボタンをオンにしてください。(タック部はプレス動作を行いません。)

⑦ 決定ボタン(タイマー保存ボタン) (動作中緑色のランプが点灯)

各タイマーの設定時間の変更を行った後に、このボタンを押すと変更した時間を保存(登録)することができます

⑧ カウンタークリアボタン

このボタンを押すと、⑩「表示窓」に“0” が点滅をします。⑦「決定ボタン」を押すと、カウンターを「0」にすることができます。

※このボタンは各メニュー操作時において「戻る/キャンセルボタン」の機能にもなります。

⑨ テストボタン(オンの時緑色のランプが点灯)

このボタンをオンにすると、各動作の機能テストを行うことができます。テスト操作についての詳細は、37ページの「テスト運転」を参照。

初期状態のみ有効となります。

⑩ 表示窓

仕上げ枚数・タイマーのカウントダウン・エラー番号・メニュー項目(番号)などを表示します。

⑪ 電源ランプ

電源を入れるとランプ(赤色)が点滅します。非常停止ボタンを押した際にも点滅します。
リセットボタンを押すと点灯に変わり通常運転が可能になります。

⑫ ダイヤル

このダイヤルを回すことで、タイマーの設定変更やメニュー項目(番号)の選択などが行えます。

操作手順



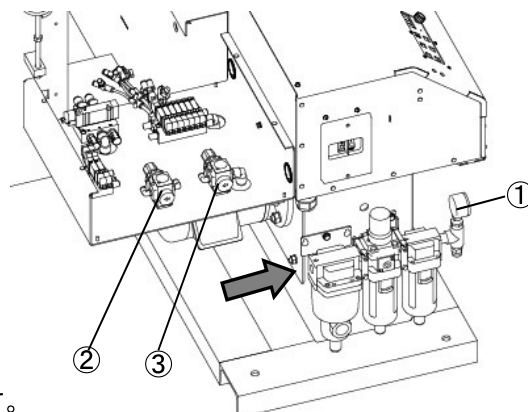
注意

正しくお使い頂くために、操作手順を遵守してください。
正しい操作を行わないと、機械の故障または作業者のケガの原因となります。

エアーを供給

- メインレギュレータ及び各部レギュレータが以下の規定エアー圧力になっていることを確認してください。

- | | |
|------------------------|-----------|
| ① メインレギュレータ | ・・・0.6MPa |
| ② レギュレータ(スリーブ下降用) | ・・・0.2MPa |
| ③ レギュレータ(スライド/スリーブ上昇用) | ・・・0.3MPa |



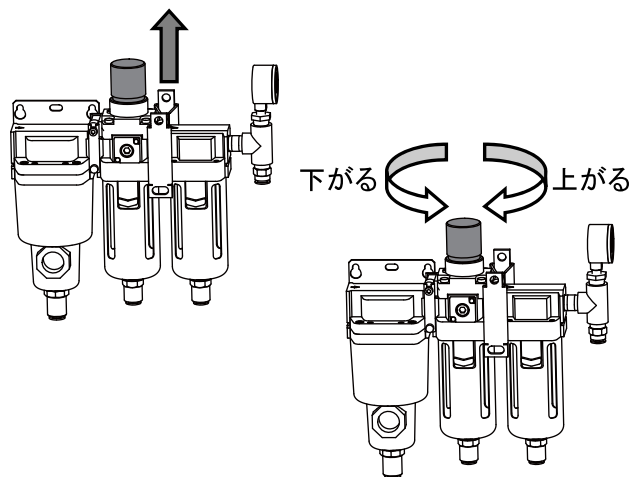
エアー圧力が規定値に達していないと、誤動作の原因となります。
万が一、規定圧力に達しない場合は、下図を参考にエアー圧力を設定してください。

■ エアー圧力調整方法

1. レギュレータの調整ノブを引き上げます。
2. 調整ノブを回して圧力調整をします。

時計回り → 圧力が上がります。
反時計回り → 圧力が下がります。

3. 調整が終わったらノブを下げておきます。



チェック項目

- メインエアー圧力を調整しても 0.6MPa にならない場合は、コンプレッサーの点検をお願いいたします。
- コンプレッサーに異常が見られないにも関わらず、エアー圧力値が変わらない場合は代理店まで連絡してください。

注意

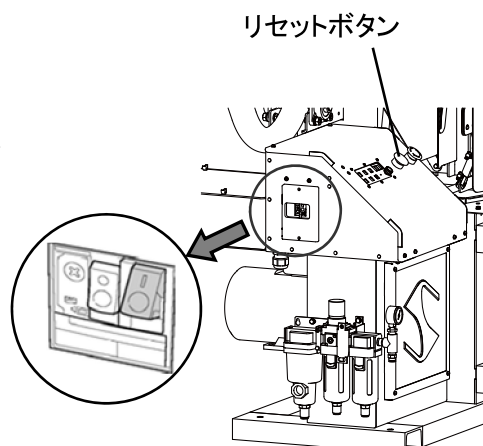
エアーが安定供給できる環境でご使用ください。アフタークーラーなどをご利用いただき、常に清浄なエアーが供給できる環境でご使用ください。

スチームを供給

1. スチーム圧力が 0.6MPa 以上供給できる環境であることを確認してください。
スチーム圧力が規定値に達していないと仕上がり品質に影響が出る原因となりますので、スチーム圧力計で規定圧力になっていることを必ず確認してください。
2. スチームを入れてから全体が加熱するまでに、15 分程かかります。
(季節・環境により多少の違いがあります。)
十分に加熱をしないまま使用しますと、仕上がり品質に影響が出る恐れがあります。

電源を入れる

1. 電気ボックスの左側面にある電源スイッチの、黒いボタンを押すと電源が入ります。
→操作パネルの電源ランプが点滅をして、表示窓に「— — —」が表示されます。
2. 「リセット」ボタンを押してください。
→電源ランプが点灯に変わり機械の操作が可能となります。
また、表示窓は仕上げ枚数に変わります。



注意

- ・リセットボタンを押さないと、機械の操作ができません。
- ・前コテが初期位置(右側)にない時は、初期位置に移動します。(移動中は表示窓に「A03」が表示されます。)

タイマーを設定

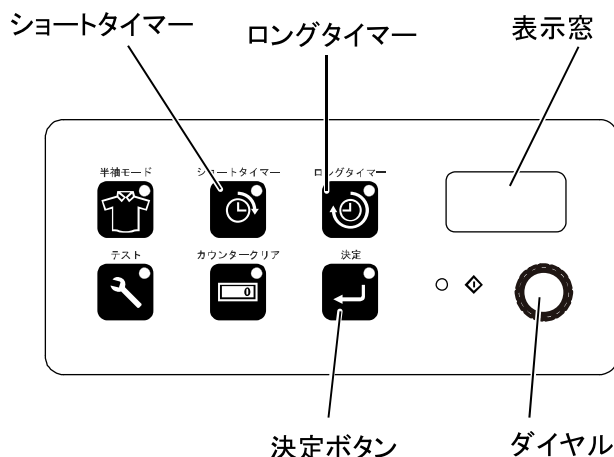
● プレス時間のロングタイマー／ショートタイマーの設定方法

- ① 操作パネルの「ロング」ボタンまたは「ショート」ボタンを押してください。
(押したボタンの緑色のランプが点灯)
・ロングボタンを選択した時はロングタイマーの設定変更が、ショートボタンを選択した時はショートタイマーの設定変更ができます。
→表示窓に選択したタイマーの現在の設定時間が点滅表示されます。
- ② 「ダイヤル」を回すと、設定時間を1秒ずつ変更ができます。
* 右に回すと設定時間が長くなり、左に回すと設定時間が短くなります。
- ③ 「決定」ボタンを押して、変更した時間を保存してください。

注意

保存をしないと、変更前の時間に戻ってしまいますので、変更された時は必ず「決定ボタン」を押して保存してください。

工場出荷時の設定は、
・ロングタイマー ... 25秒
・ショートタイマー ... 18秒
(共に最大設定可能時間は、99 秒です。)



シャツをセットする



注意

- ・作業中に機械可動部に手や衣類などを挟まれないように十分に注意して操作してください。
- ・衣類をセットする際にコテ金属部に触れますと火傷をする恐れがありますので十分に注意してください。

- ・それぞれの工程に、きれいに仕上げるためのポイントが記載してあるので、参考の上でご使用ください。
- ・注意事項を必ずお読みになり、安全にこの機械をご使用ください。

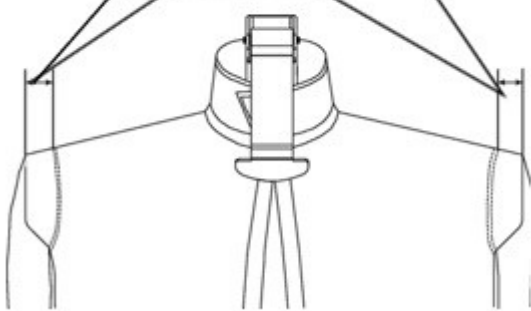
ポイント！

1枚のセットを25秒以内で終わめすと、セット時のシャツの乾きを最小限に抑えることができるため、品質が向上します。
この時間を、セット時間の目安にしてください。

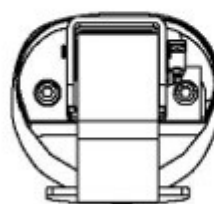
● ボディーにシャツを掛けてください

ポイント！

① ボディーに対して左右均等にセットする。



② 襟の後部をステンレスカラーから離さない。



○



隙間 ×

×

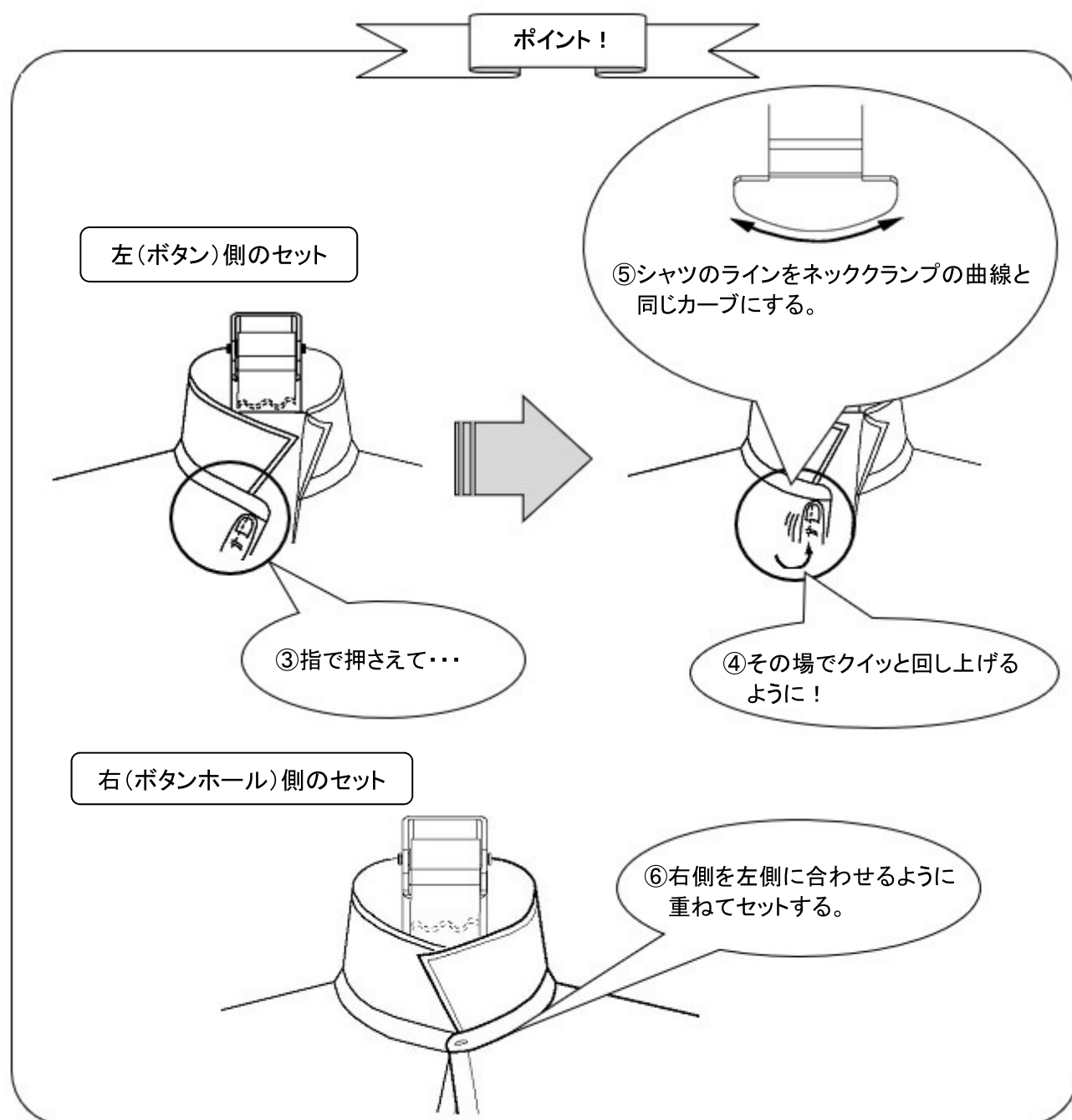
● ネックのセット

ネックをセットして、フットペダルを踏んでください。
→ ネッククランプが閉じます。

※セットをやり直す場合は、「リセット」ボタン(青色)を押してください。

ネッククランプが開きますので、もう一度セットしてください。

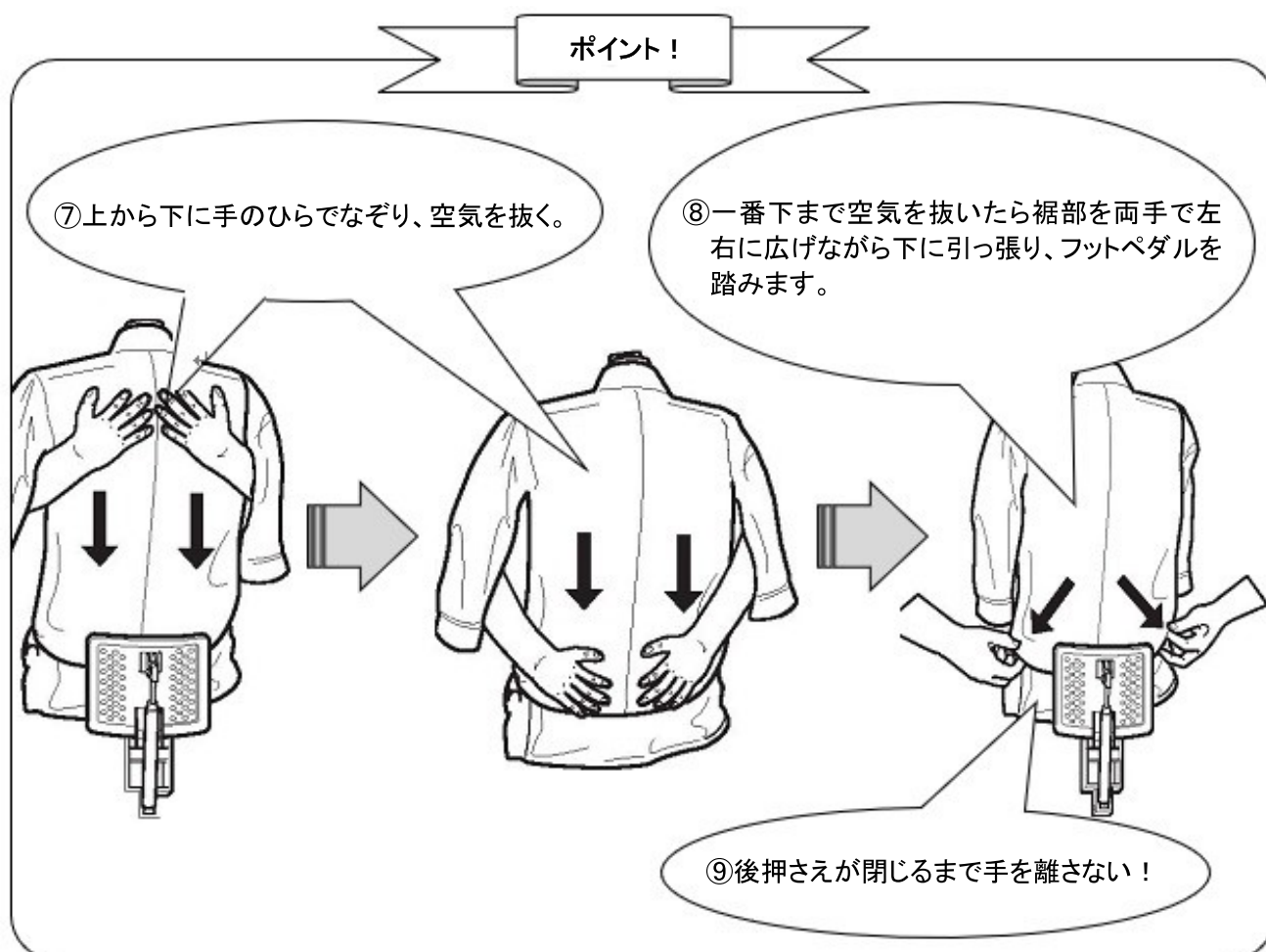
※裾のセット後にネック部のセットをやり直す場合は、フットペダルを踏んでください。フットペダルを踏んでいる間、ネッククランプが開きます。



● 裾のセット

背面部を上から下まで両手でなぞった後に、裾部を左右に引っ張りながらフットペダルを踏んでください。
→ 裾クランプが閉じ、バキュームを開始します。

※セットをやり直す場合は、リセットボタン(青色)を押してください。
後ろ押さえが開きますので、もう一度セットしてください。



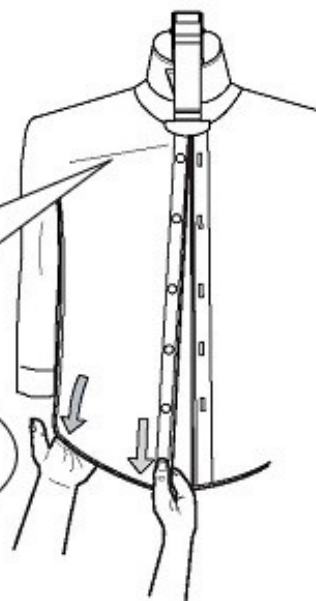
● 前部のセット

裾クランプが閉じると、バキュームが開始され脇張りが出てきます。
シャツを下に伸ばしながら、すべてのしわを伸ばして前部をセットしてください。

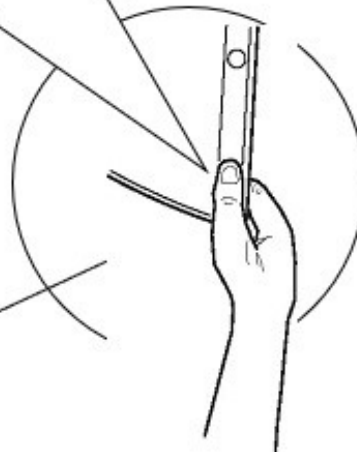
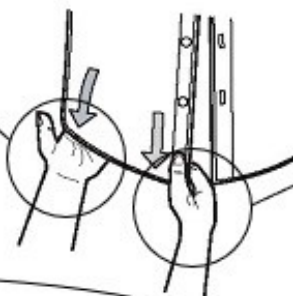
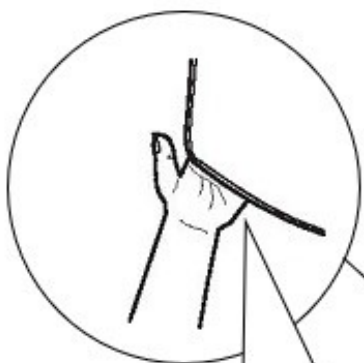
ポイント！

左(ボタン)側のセット

⑩図のようにシャツを持ち、この辺りまでシャツを浮かせて全体のシワを伸ばし、ボディーに貼り付けるようにセットする。
(⑪・⑫参照)



⑪親指を垂直に立て真下方向にボディーから3 cm くらいシャツを浮かせながらシワを伸ばす。
(浮かせ過ぎに注意)

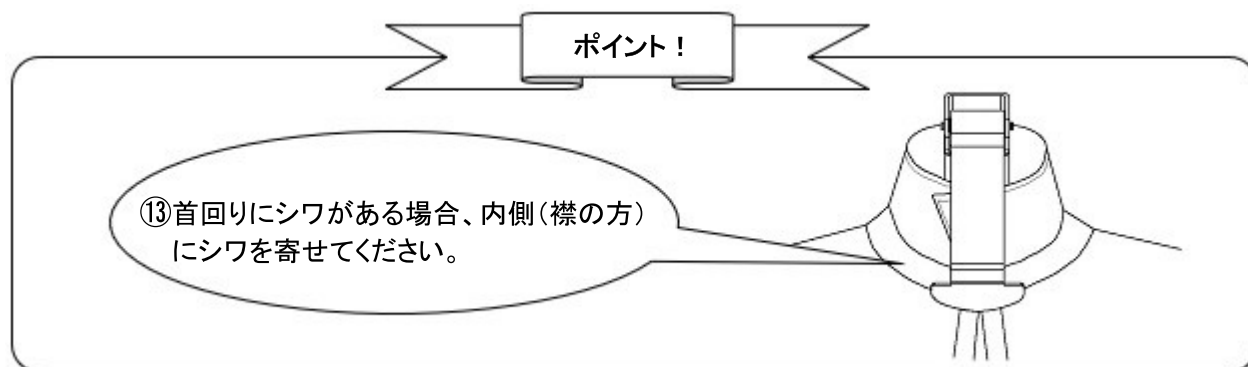


⑫シャツの内側に手を入れてシャツ全体を伸ばしながらシワを取る。

右(ボタンホール)側のセット

右側も左側と同様にセットしてください。

ポケットがある場合、手の甲で上に向かって中の空気を抜くようにサッとはらってください。



● カフス(長袖、半袖) のセット

長袖・半袖選択について

長袖・半袖の選択は、電気ボックスの操作パネルの「半袖」ボタンのオン／オフにて選択できます。

長袖

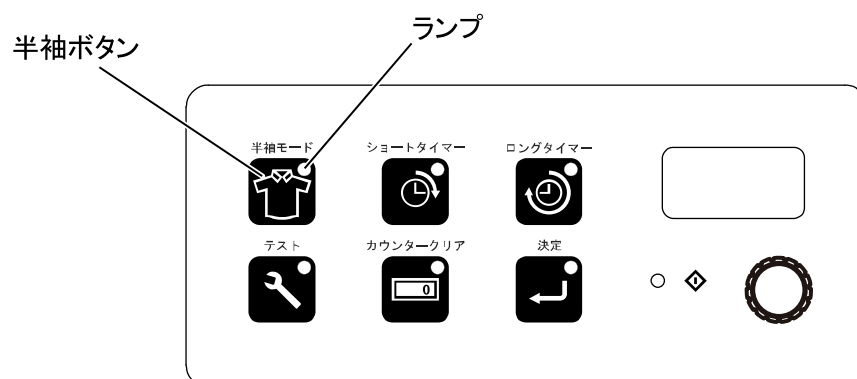
「半袖」ボタンのランプが点灯していない場合は、長袖モードです。

(半袖ボタンが点灯している時は、このボタンを押すとランプが消灯して長袖モードになります。)

半袖

「半袖」ボタンのランプが点灯している場合は、半袖モードです。

(半袖ボタンが点灯していない時は、このボタンを押すとランプが点灯して半袖モードになります。)



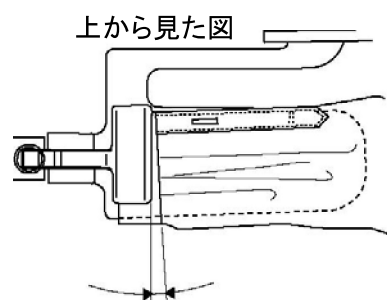
1: 長袖のセット

- 電気ボックスの操作パネルの「半袖」ボタンが消灯していることを確認してください。

左カフスのセット

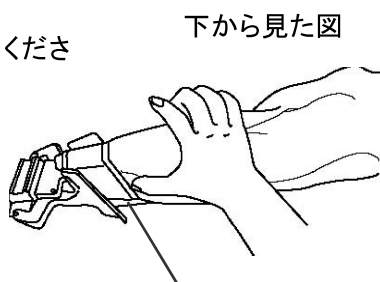
- 左カフスをコテ受けに差込み、カフス部分を上下のカフスクランプにセットしてください。

参考 セット図を参考にセットしてください。
タック下部を整えてください。



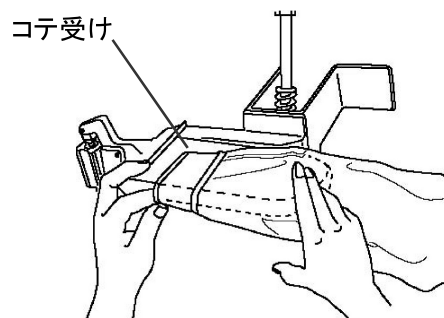
上から見た図

角度 (0° ~ 15°) をつけてくださ

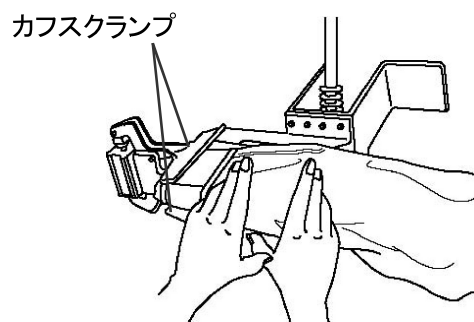


下から見た図

カフスの上下の面を合わせる



コテ受け



カフスクランプ

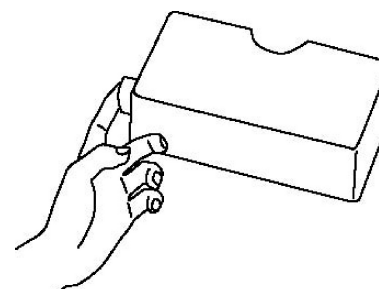
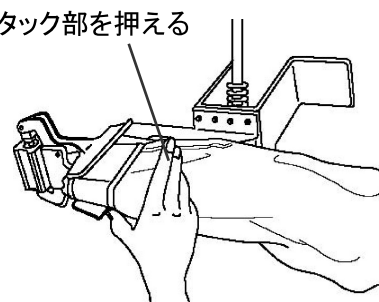
- 右手でタック部を押さえたまま、左手でカフスクランプ/スライドスタートボタンを押してください。

→ 左カフスを固定して前コテ部が左に移動してきます。

注意 前コテ部が左に移動している時に、体が触れないように十分注意してください。

※セットに失敗した場合は前コテスライドが停止した後に、カフスクランプ/スライドスタートボタンをもう一度押してください。押している間クランプが解除されます。ボタンを離すと、再度カフスをクランプします。

右手でタック部を押える



右カフスのセット

- 右カフスを、左カフスと同じようにセットしてください。
- 左手でタック部を押さえたまま、右手でショートもしくはロングボタンを押してください。

参考

ここで押されたボタンによって、仕上げ時間が決まります。

→右カフスを固定します。

※セットに失敗した場合や、仕上げ時間を変更したい場合は、押しているボタンを離してください。
右カフスクランプを解除します。再度ショートもしくはロングボタンを押しますとカフスをクランプします。

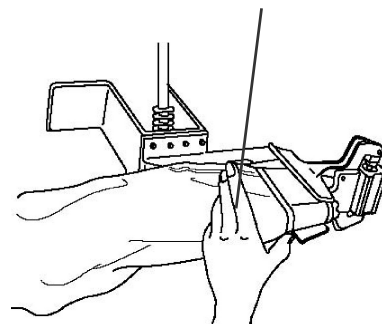
- 右手でロングボタンまたはショートボタンを押したまま、左手でスタートボタンを押してください。

→タックコテ、前コテ、肩コテがプレスを開始し自動運転となります。

注意

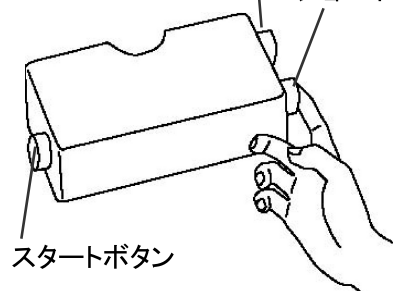
* ボタンは、前コテ・肩コテが閉じるまで押してください。途中で離しますと、前コテ・肩コテが開いてプレスしません。

左手でカフス部を押える



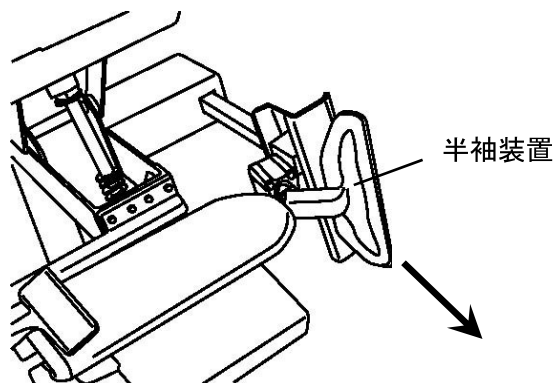
ロングボタ

ショートボタ



2: 半袖のセット

- 操作パネルの「半袖」ボタンを押してください。
(ボタンのランプが点灯します)
- 左右の半袖装置を手前側にスライドさせてください。



左半袖のセット

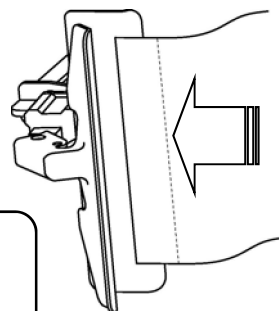
- 半袖をセットします。右手で半袖を押えて、左手で「カフスクランプ/スライドスタート」ボタンを押してください。

→ 左袖を固定して前コテ部が左に移動してきます。

注意

前コテ部が左に移動している時に、体が触れないように十分注意してください。

※セットに失敗した場合は前コテスライドが停止した後に、カフスランプ/スライドスタートボタンをもう一度押してください。押している間クランプが解除されます。ボタンを離すと、再度カフスをクランプします。



右半袖のセット

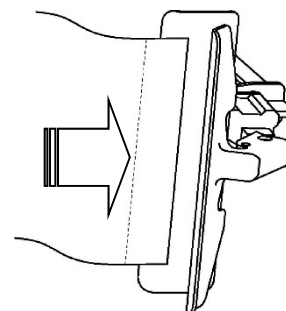
- 右袖を同様にセットし、右手でショートもしくはロングボタンを押してください。

参考

ここで押されたボタンによって、仕上げ時間が決まります。

→ 右袖を固定します。

※セットに失敗した場合や、仕上げ時間を変更したい場合は、押しているボタンを離してください。右カフスクランプを解除します。
再度 ショートもしくはロングボタンを押しますと、カフスをクランプします。



- 右手でボタンを押したまま、左手でスタートボタンを前コテと肩コテが閉じるまで押してください。

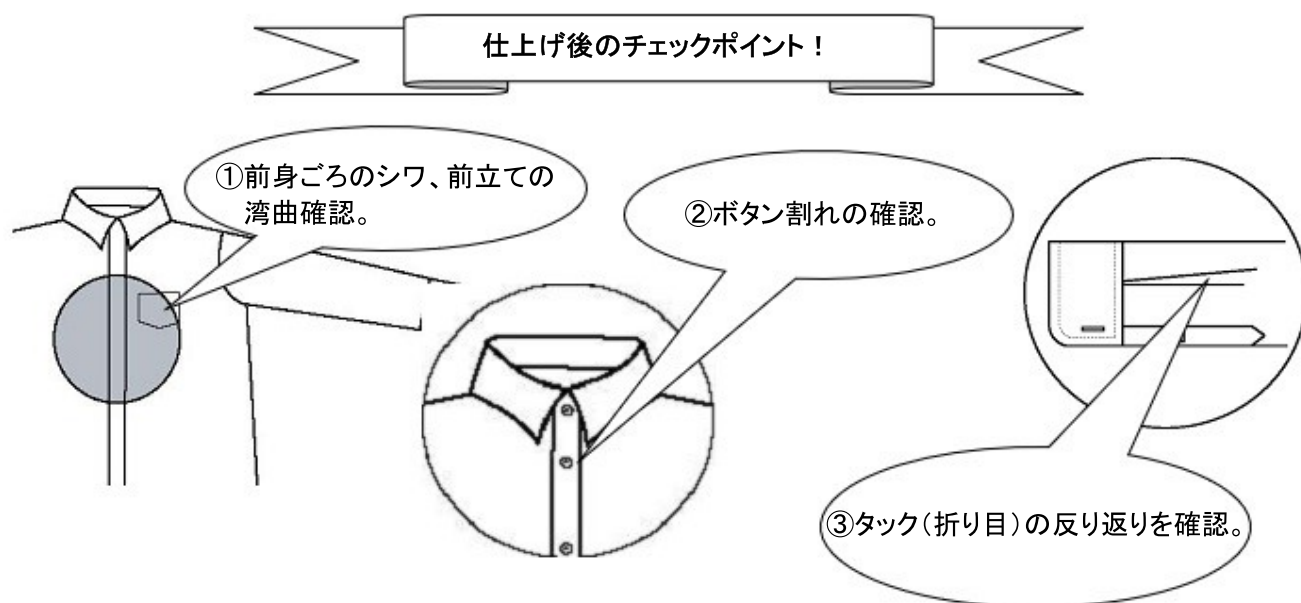
→ 前コテ・肩コテがシャツをプレスして自動運転となります。
(半袖モードのとき、タックコテは閉じません。)

参考

- 自動運転中にリセットボタンを押すと、タイマー設定時間中でも全ての動作を終了することができます。
- ブロワーが作動中にフットペダルを踏むと、ブロワーの時間を延長できます。
1回踏む毎に5秒延長ができ、最大99秒まで延長できます

- タイマーの設定時間が終了すると、全てのコテが開き仕上げが終了します。

→前コテがプレス位置から右へ移動しますので、シャツを取り除いた後次に仕上げるシャツをセットしてください。



作業終了後

本機を長くお使いいただくために、その日の作業終了後に以下の終了手順を行ってください。

- ①機械本体への入側の蒸気バルブを閉じます。
- ②機械本体・カバーから湿気を取り除く為に空運転を行います。
- ③蒸気排出側のスチームトラップのバルブを開いて、機械本体からドレンと残蒸気を抜きます。
- ④機械本体の残蒸気が抜けきったら③のスチームトラップのバルブを閉めます。
- ⑤本体側面の電源スイッチ(赤)を押して電源を切ります。
- ⑥機械本体に水滴が付いている場合は拭き取ってください。

その他の操作

非常停止の解除方法

非常停止ボタン、前コテ・タックコテ安全バーが起動した場合、ブザーが鳴るとともに全ての操作が停止し、全てのプレス(肩、ボディ、タック)が開いて表示窓にエラーが表示されます。

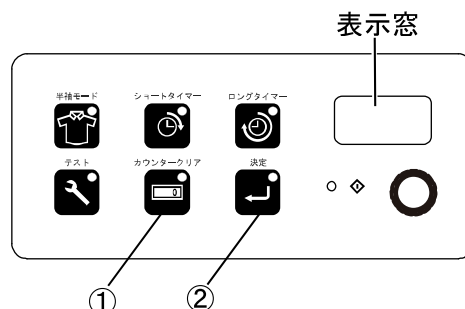
解除方法

- ・非常停止ボタンが押された時 : ボタンを右に回しロックを解放した後、リセットボタンを押します。
リセットボタンを押さない限り、非常停止状態は解除されません。
- ・各安全バーが押された時 : リセットボタンを押すと機械は通常の状態に戻ります。

※非常停止解除後リセットボタンを押すと、前コテが初期位置(右側)にない時は、初期位置に移動します。
(移動中は表示窓に「A03」が表示されます。)

カウンター(仕上げ枚数)のリセット

- ① 操作パネルの「カウンタークリア」ボタンを押します。
→表示窓に“0”が点滅表示します。
- ② 同じく操作パネルの「決定」ボタンを押します。
→点滅していた“0”が点灯に変わり、リセットが完了です。



カバーカウンターについて

カバーカウンターとは、ボディカバー交換の目安となるプレス回数を表示します。

電源をオンにした時に25,000回を超えていると、ブザーが鳴り表示窓にエラー番号“EC-1”が表示され機械は停止します。

※ カバーの交換を行った際には、必ずカバーカウンターを“0”にしてください。

カバーカウンターの表示、およびリセットは「テスト運転」(37ページ)で行います。手順は次の通りです。

- ① 「リセット」ボタン(青色ボタン)を1秒以上長押しします。→ブザーが停止してエラーが解除されます。

注意

この状態でも通常運転は可能ですが、次に電源をオンにした時に再びエラーが発生します。
カバー交換後は必ず以下の操作を行い、カバーカウンターをリセットしてください。

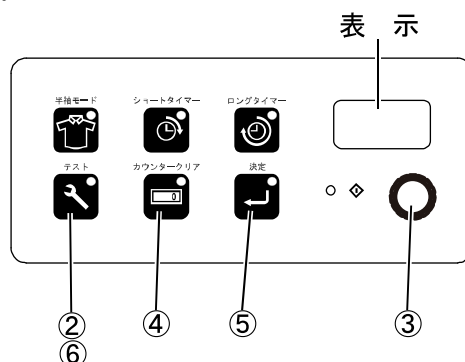
- ② 操作パネルの「テスト」ボタンを押します。→表示窓に **2000** が表示されます。

- ③ ダイヤルを回して **0000** が表示したら「決定」ボタンを押します。
→表示窓に **0000** が表示されます。(数字は参考数値です。)

- ④ 操作パネルの「カウンタークリア」ボタンを押します。
→表示窓は **0000** に変わり、“0”が点滅します。

- ⑤ 操作パネルの「決定」ボタンを押します。
→点滅していた“0”が点灯に変わります。(リセット完了)

- ⑥ 操作パネルの「テスト」ボタンを押します。
→仕上げ枚数表示となり、通常運転に戻ります。



カバー・マット交換手順



注意

カバー・マットを交換するには必ず電源を切り、スチームを止めて機械が完全に冷めたことを確認の上、作業を行ってください。
冷め切らないまま作業を行いますと、火傷をするおそれがあります。



注意

脇部分にはカバーを張るスプリングフックが付いています。フックを引っ張る際はフックを直接手で持たず、必ずリングに指を掛けて引っ張ってください。
怪我をしないよう充分注意をして作業を行ってください。

はじめに

カバー・マット類を装着する場合の手順を説明しています。
取外す場合は取付けの手順を逆にして行ってください。
また、一部のカバー・マット類を交換する場合は、対象の交換手順を参照してください。

注意

カバー交換の後は、必ずカバーカウンターをリセットして“0”にしてください。
カバーカウンターのリセット手順については、22 ページを参考に行ってください。

●カバー・マット類一覧



ボディーカバー（後下カバー付き）



ステンレス棒 2本
※（再利用）



後ろ押しカバー



後ろ身保護カバー（左右共通）



ボディーネル 8mm



ボディーSH シリコン 10mm



ネック押しカバー



ネック押しオレンジシリコン



タックカバー
(左右別々)



タックネル 5mm
(左右共通)



タックHシリコン 6mm
(左右共通)



カフス押えカバー
(左右上下共通)



半袖下カバー
(左右共通)



半袖カバー
(左右共通)

1. ボディーカバーを取外す際の要点

- 1-1
- ・ボディーカバー前身脇に引っ掛けてある、カバー張りスプリングフックのリングに指を引っ掛け、手前に引いてフックをボディーカバーから外します。(図 1-1-1)
 - ・カバー張りスプリングフックのリングに指を引っ掛けたまま、ボディーカバー前身脇を開き、機械本体のボディーにフックを引っ掛けておきます。そうしておく、カバー張りスプリングフックの落下を防ぎます。(図 1-1-2)
- ※カバー張りスプリングフックを引っ掛ける場所は、前身の上側左右と前身の下側左右、計 4 箇所あります。



図 1-1-1



図 1-1-2

- 1-2
- ・機械本体からダクトホースを外した後に、ボディーカバーを外してください。(図 1-2-1)

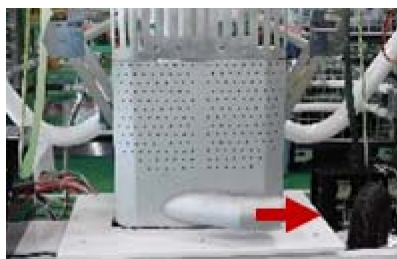


図 1-2-1

- 1-3
- ・ボディーカバーを取外したら、前身脇に入っているステンレス棒を肩紐の出口から抜き取ります。左右 2 本共抜き取ってください。(図 1-3-1)
 - ・抜き取ったステンレス棒を新しいボディーカバーに差し込みます。(図 1-3-2)
 - ・ステンレス棒は裾の方にあるミシン止めまで入れてください。(図 1-3-3)



図 1-3-1



図 1-3-2

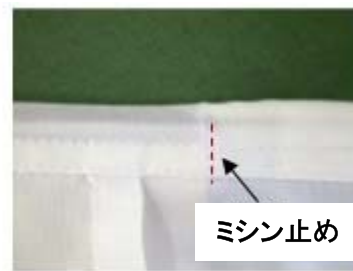


図 1-3-3

- 1-4
- ・新しいボディーカバーの後身裾に付いている両脇のマジックテープを外します。(図 1-4-1)
 - ・次に両脇のファスナーを外してください。(図 1-4-2)
 - ・後下カバーを取外しておきます。(図 1-4-3)



図 1-4-1



図 1-4-2



図 1-4-3

2. 機械本体から後押えユニットを外す

- 2-1
- ・エアーコックを閉めてください。(図 2-1-1)
 - ・次にレギュレータのバルブを開けます。(図 2-1-2)
 - ・エアーの圧力が 0.6Mpa から 0Mpa になった事を確認してください。(図 2-1-3)



図 2-1-1



図 2-1-2



図 2-1-3

- 2-2
- ・後押えユニット裏側にある、「黒色」「赤色」の 2 本のエアーチューブをスピードコントローラーから外します。(図 2-2-1)
 - ・スピードコントローラーの先端を押し込みながらエアーチューブを引っ張ると外れます。(図 2-2-2)

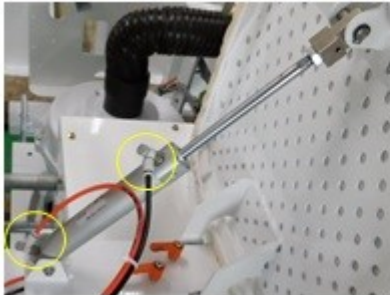


図 2-2-1

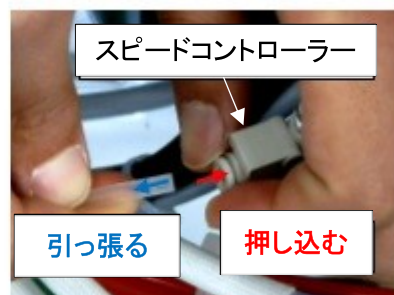


図 2-2-2

- 2-3
- ・後押えユニットはレバー付きのネジ 2 個で固定されています。レバーを回してネジを外してください。(図 2-3-1～2)
 - ※レバーがあたる場合はレバーを持ち上げて角度を変えてください。[①上方向にレバーを引く。②レバーの角度を変える。]の手順で調整します。(図 2-3-3)



図 2-3-1



図 2-3-2



図 2-3-3

- 2-4
- ・後押えユニットを上方向に持ち上げます。(図 2-4-1)
 - ・機械本体からゆっくり後押えユニットを外してください。(図 2-4-2)



図 2-4-1

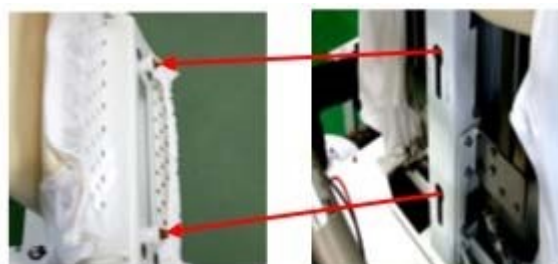


図 2-4-2

3. 後押えユニットに後下カバー 後押えカバーを装着する

- 3-1 ・後下カバー右下にあるL字形のマジックテープを外します。(図 3-1-1)
・カバーを後押えユニットのボディー側(後裾受け部)にネルが上下左右均等になるように当てます。※マジックテープを外した方が下側です。(図 3-1-2)
・紐を引っ張り、後裾受け部の四隅を包み込んで紐を縛ります。結び目は内側に納めてください。(図 3-1-3)
・カバーに張りをだす為に裏側上部の中の紐を引き下げて、フック2箇所につ引っ掛けてください。(図 3-1-4)
・はじめにマジックテープを外した下側の布を後押えユニットのベースの下にまたがせて、L字形のマジックテープを貼り合わせます。(図 3-1-5)



図 3-1-1



図 3-1-2



図 3-1-3



図 3-1-4



図 3-1-5

- 3-2 ・後押えカバーのネルを表側の生地地の角に馴染ませておきます。(図 3-2-1)
・カバーを後押えユニットの押え側に上下左右均等になるようにあてます。※紐の出口が上側です。(図 3-2-2)
・紐を引っ張り、後押え部の四隅を包み込んで紐を縛ります。結び目は内側に納めてください。(図 3-2-3)
・カバーに張りをだす為に裏側上部の中の紐を引き下げて、フック2箇所につ引っ掛けてください。(図 3-2-4)



図 3-2-1



図 3-2-2



図 3-2-3



図 3-2-4

- 3-3 ・後押えユニットを機械本体に取付ける。
・「2. 機械本体から後押えユニットを取外す」を参考にして、後押えユニット裏側の突起部を機械本体の穴に合わせ、後押えユニットをはめ込みます。
・レバーの付いた2個のネジで後押えユニットを固定します。(※ネジ穴が合わなく
・「黒色」「赤色」の2本のエアチューブをスピードコントローラーに挿し込みます。※上側は黒、下側は赤
・レギュレータのバルブを閉め、エアコックをゆっくり開け、エアの圧力が0Mpaから0.6Mpaになった事を確認してください。

4. ボディーシロン ボディーネル 後身保護カバーを装着する

4-1 ・ボディーSH シリコンを機械本体ボディーに装着します。※ボディーSH シリコンのネックホール、肩幅、身幅が機械本体ボディーに対して、左右対称になるようにしてください。(図 4-1-1)



図 4-1-1

4-2 ・ボディーネル 8mm を装着します。ボディーSH シリコン同様、機械本体ボディーに対して、左右対称になるようにしてください。(図 4-2-1)

※ボディーネルは機械本体ボディーより身幅、後身丈がはみだします。(図 4-2-2～3)



図 4-2-1



図 4-2-2



図 4-2-3

4-3 ・機械本体後身側にある、カバーブレードの左右先端に後身保護カバーを被せます。(図 4-3-1)
※後身保護カバーの中の縫い代が、カバーブレードの裏側にくるようにしてください。(図 4-3-2)



図 4-3-1

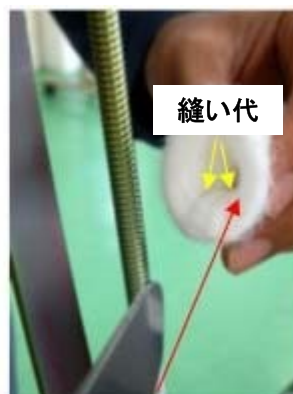


図 4-3-2

5. ボディーカバーを装着する

5-1 ・ボディーカバーを機械本体ボディーに被せます。※ボディーカバーは 1-3 項のように、前身脇にステンレス棒が差し込んである状態です。(図 5-1-1)

・脇張り機構部の左右上側にカバーを被せます。※下側はまだ被せないでください。(図 5-1-2)

・ボディーカバー前身下側にバキュームダクト部を通す開きがあります。開きのマジックテープをはずすと布が 2 枚に分かれるので、右側の布を奥によけてバキュームダクトを通します。次に左側の布をカバー本体のマジックテープにとめてください。(図 5-1-3~4)

・ボディーカバー、ボディーネル 8mm、ボディーSH シリコンが機械本体ボディーに対して左右対称に装着されているか、ネックホール、肩線、ボディーを見直し、整えてください。(図 5-1-5)



図 5-1-1



図 5-1-2



図 5-1-3



図 5-1-4



図 5-1-5

5-2 ・ボディーカバー前身裾端の裏側に付いている紐の通ったポケットを機械本体ボディー前身の下端に被せます。(図 5-2-1)

・肩から出ている前身側の紐を上につ張りあげて、ボディーカバーと機械本体ボディーとを固定してください。
※肩の紐はまだ結ばないでください。(図 5-2-2~3)

・ボディーカバー後身裾端を機械本体後身にあるカバーブレードの先端に被せ、肩から出ている後身側の紐を上につ張りあげて、ボディーカバーと機械本体ボディーとを固定してください。(図 5-2-4)



図 5-2-1



図 5-2-2



図 5-2-3



図 5-2-4

- ・ボディーカバー後身・前身の裾が機械本体にきちんと引っ掛かっているのを確認して、前後の肩紐を引っ張り、蝶結びをして仮にとめておきます。(図 5-2-5～6)



図 5-2-5



図 5-2-6

- 5-3 ・ボディーカバーのネックホール、肩線、紐を引っ張った肩紐周り、カバー全体のバランスが左右対称になっているか確認し、ボディーカバーのシワを、裾の一番下の方を引っ張ってなくしてください。前身は引っ張って余った布を機械本体ボディーの下端裏側に寄せ入れます。後身は裾の角で調整します。(図 5-3-1～4)



図 5-3-1



図 5-3-2



図 5-3-3



図 5-3-4

- 5-4 ・ボディーカバー全体が整ったら、5-2 項で仮結びをした蝶結びをほどいて、仮結びで調整した紐の引っ張り具合を維持して固結びをし、緩まないように 2 本まとめて止め結びをする。余った紐を束ねて結び、仕上がりに影響しないようボディーカバー内側に納めてください。(図 5-4-1～3)



図 5-4-1



図 5-4-2



図 5-4-3

- 5-5 ・5-4 項で出た肩周りのシワをプレスされないところで納まるよう整えてください。(図 5-5-1～2)
- ・5-3 項と同様にボディーカバー全体を確認し、整えてください。



図 5-5-1



図 5-5-2

- 5-6 ・1-1 項で、機械本体ボディーに引っ掛けておいた、カバー張りスプリングフックのリングに指を引っ掛け、手前に引いてフックを外し、そのままボディーカバーのステンレス棒に、布の上から引っ掛けてください。

※カバー張りスプリングフックを引っ掛けるところは、前身の上側左右と下側左右、計 4 箇所あります。

(図 5-6-1)

- ・左側脇張り機構部の下側にカバーを被せます。カバーの奥まで脇張り機構部を入れてください。(図 5-6-2)
- ・被せたカバーの上側と下側にあるマジックテープをとめます。(図 5-6-3~4)



図 5-6-1



図 5-6-2



図 5-6-3



図 5-6-4

- 5-7 ・左側脇張り機構部のカバーの後ろ側に付いているファスナーと、後押えユニットの後下カバーに付いているファスナーを合わせて上から下に閉じます。(図 5-7-1)

- ・上から下に閉じたファスナーの取手を隠すようにしてカバー裾のマジックテープをとめ、後下カバーの裾端にある紐のループにボディーカバー裾端から出ている、先端にマジックテープの付いた紐を通します。

(図 5-7-2)

- ・ボディーカバー裾の一番下、紐が通っている部分の全周を機械本体の紐掛け金具に掛け、先端にマジックテープが付いた左右の紐を引っ張ります。(図 5-7-3~4)

- ・左右の紐が緩まないように、ダクトの下でマジックテープどうしをとめてください。(図 5-7-5)

- ・機械本体にダクトホースをはめ込んでください。(図 5-7-6)



図 5-7-1



図 5-7-2



図 5-7-3



図 5-7-4



図 5-7-5



図 5-7-6

6. ネック押えカバーを装着する

6-1 ・機械本体ネック押えクランプアーム先端に、ネック押えカバーを装着します。

- 手順
- 1 ・ネック押えカバーの内側に、ネック押えオレンジシリコンの平らな面が合わさるようにはめ込む。(図 6-1-1～2)
 - 2 ・機械本体ネック押えクランプアーム先端にボディー側からネック押えカバーを被せる。(図 6-1-3)
 - 3 ・ネック押えカバーの紐を引っ張り、固結びをする。(図 6-1-4)
 - 4 ・固結びが緩まないように蝶結びをする。(図 6-1-5)
 - 5 ・結んだ紐をカバーの内側に納める。(図 6-1-6)



図 6-1-1



図 6-1-2



図 6-1-3

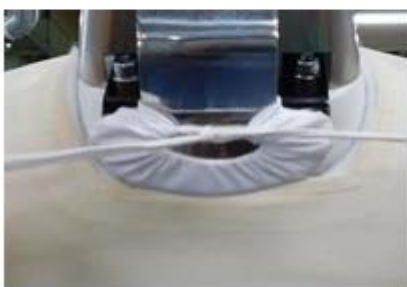


図 6-1-4



図 6-1-5

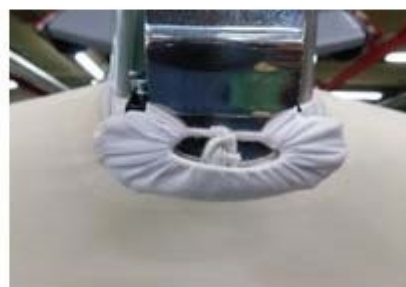


図 6-1-6

7. タックカバー(左側) カフス押えカバー(左側) 半袖カバー(左側)を装着する

7-1 ・タックカバーに、タックHシリコンとタックネル 5mm を入れて、コテ受け板にタックカバーを装着します。
※タックカバーは左右で違いがあるので注意してください。(機械本体正面に向かって紐が奥側に位置します。)

- 手順 1 ・タックHシリコンの上に、タックネル 5mm を網目の面が合わさるように重ねる。(図 7-1-1)
2 ・タックカバーに、重ねたシリコンとネルをネルが上側になるように入れる。(図 7-1-2)
3 ・シリコンとタックカバー下面の間に、コテ受け板が入るようにタックカバーをコテ受け板に被せる。
(図 7-1-3~4)
4 ・タックカバーの紐を、コテ受け板の奥側で固結びをし、蝶結びをする。(図 7-1-5)

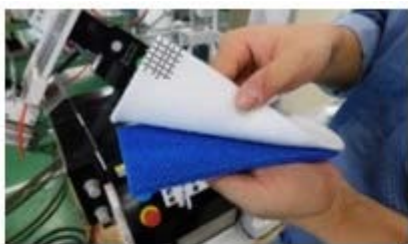


図 7-1-1



図 7-1-2



図 7-1-3



図 7-1-4



図 7-1-5

7-2 ・カフスクランプにカフス押えカバーを装着します。
※カフス押えカバーは左右で違いがあるので注意してください。(図 7-2-1~2)

- 手順 1 ・カフスクランプ上側に、タックカバー側からカフス押えカバーを被せ、固結びをし、蝶結びをする。(図 7-2-3)
2 ・結んだ紐をカバーの内側に納める。(図 7-2-4)
3 ・カフスクランプ下側も上側同様に装着する。(図 7-2-5)



図 7-2-1



図 7-2-2



図 7-2-3



図 7-2-4



図 7-2-5

7-3 ・半袖クランプに半袖下カバー、半袖カバーを装着します。

- 手順
- 1 ・半袖クランプ奥側に半袖下カバーのウラ側の紐を下から通す。(図 7-3-1)
 - 2 ・紐を引っ張り、固結びをする。緩まないように 2 本まとめて止め結びをする。余った紐の中間に 2 本まとめて止め結びをする。(図 7-3-2)
 - 3 ・結んだ紐をカバーの内側に納める。(図 7-3-3)
 - 4 ・半袖クランプ手前側に半袖カバーのウラ側の紐を上から通す。(図 7-3-4)
 - 5 ・半袖下カバー同様に紐を結ぶ。(図 7-3-5)
 - 6 ・結んだ紐をカバーの内側に納める。(図 7-3-6)

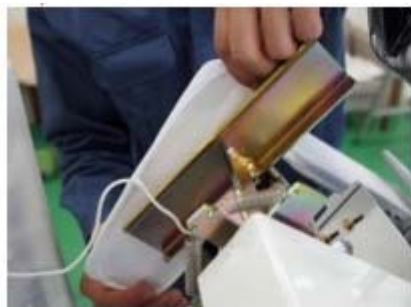


図 7-3-1



図 7-3-2



図 7-3-3



図 7-3-4



図 7-3-5



図 7-3-6

8. 機械本体 ボディー前コテをスライドさせ、右側のカバー類を装着する

8-1 ・ボディー前コテを左側にスライドさせます。

- 手順
- 1 ・電源を入れる。(図 8-1-1)
 - 2 ・リセットボタンを押す。(図 8-1-2)
 - 3 ・パネルのテストボタンを押す。(図 8-1-3)
 - 4 ・ダイヤルを回して 009 番にする。(図 8-1-4)
 - 5 ・パネルの決定ボタンを押す。(図 8-1-5)
 - 6 ・機械本体 ボディー前コテが左側にスライドする。(図 8-1-6～7)
 - 7 ・電源を切る。(図 8-1-8)



図 8-1-1



図 8-1-2



図 8-1-3



図 8-1-4



図 8-1-5



図 8-1-6



図 8-1-7



図 8-1-8

8-2 ・7-1 項同様に右側のタックカバー、カフス押えカバーを装着します。(図 8-2-1)



図 8-2-1

8-3 ・右側の半袖クランプに半袖下カバー、半袖カバーを装着します。

- 手順 1 ・右側半袖クランプ奥側に半袖下カバーのウラ側の紐を上から通し、左側同様に装着する。(図 8-3-1～2)
2 ・右側半袖クランプ手前側に半袖カバーのウラ側の紐を下から通し、左側同様に装着する。(図 8-3-3～4)



図 8-3-1



図 8-3-2



図 8-3-3



図 8-3-4

8-4 ・ボディー前コテを右側にスライドさせます。

- 手順 1 ・電源を入れる。(図 8-4-1)
2 ・リセットボタンを押す。(図 8-4-2)
3 ・機械本体 ボディー前コテが右側にスライドする。(図 8-4-3～4)
4 ・電源を切る。(図 8-4-5)



図 8-4-1



図 8-4-2



図 8-4-3



図 8-4-4



図 8-4-5

テスト運転



警告

危険ですので、動作範囲に人がいないことを確認してから、テスト運転を行ってください。

テスト運転により、通常は連続で動作する機能を単独で動作させることができます。

操作手順

操作 1: 操作パネルの「テストボタン」を押します。

→緑色のランプが点灯して、表示窓にはテスト番号『 o01 』が表示されます。

テスト番号『 o01 』の表示例



操作 2: 操作パネルの「ダイヤル」を回して、テスト項目の選択を行います。

→右へ回すとテスト番号が進み、左へ回すとテスト番号を戻すことができます。

(テスト番号は、24 ページ「テスト番号表」の順番に表示します。)

操作 3: 操作パネルの「決定ボタン」を押します。

→テスト運転がオンとなり指定した部分が動作します。テストを実行している間は、「決定ボタン」のランプが点灯します。

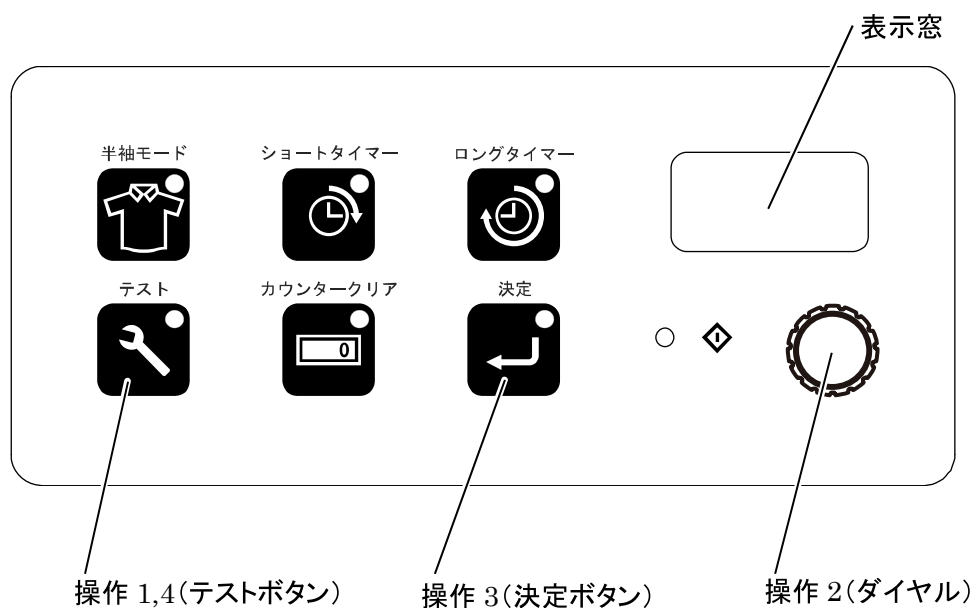
*もう一度、「決定ボタン」を押すと、テストがオフとなり戻ります。

注意

今行っているテストをオフにしないと次のテストへは進むことができません。

操作 4: テストが終了したら「テストボタン」を押します。

→ランプが消灯して、通常運転となります。



テスト番号表

表示窓	テスト項目	テスト内容
0.01	バキュームモーター電磁開閉器	バキュームモーターをオン／オフします。
0.02	ブロワーモーター電磁開閉器	ブロワーモーターをオン／オフします。
0.04	後裾押え上昇電磁弁(YV4)	後裾押え上昇電磁弁をオン／オフします。
0.05	スリーブアーム上昇/下降電磁弁(YV5/21)	スリーブアーム上昇電磁弁をオン／オフします。
0.06	後裾押え閉じ電磁弁(YV6)	後裾押え閉じ電磁弁をオン／オフします。
0.07	左カフスクランプ閉じ電磁弁(YV7)	左カフスクランプ閉じ電磁弁をオン／オフします。
0.08	右カフスクランプ閉じ電磁弁(YV8)	右カフスクランプ閉じ電磁弁をオン／オフします。
0.09	前コテ左右移動電磁弁(YV9 / 10)	前コテ左右移動電磁弁をオン／オフします。
0.11	タック閉じ電磁弁(YV11)	タック閉じ電磁弁をオン／オフします。
0.12	胴プレス/肩プレス電磁弁(YV12)	胴プレス/肩プレス電磁弁をオン／オフします。
0.13	脇張り開閉電磁弁(YV13 / 22)	脇張り開閉電磁弁をオン／オフします。
0.18	ネック閉じ電磁弁(YV18)	ネック閉じ電磁弁をオン／オフします。
0.23	ブザー	オンの間ブザーが鳴ります。
0.27	サイズ選択ボタン	オンの間ランプが点灯します。
0.88	DIP スイッチの確認・設定	ディップスイッチの設定確認及び変更ができます。 25 ページの「ディップスイッチ機能」を参照。
0.88	ボリュームの確認・設定	ボリューム機能の設定確認及び変更ができます。 25 ページの「ボリューム機能」を参照。
0.98	パネル表示テスト	操作パネルの表示窓の表示確認を行います。 「ダイヤル」を回す毎に色々な数字が表示されます。 終了は「決定ボタン」を押します。
0.8.8	パネルボタンテスト	操作パネルの各ボタンの確認を行います。 ボタンを押している間、ボタンの緑色ランプが点灯します。 終了は「決定ボタン」を押します。
0.8.8	入力テスト 1	各入力信号の番号が表示されます。 26 ページの「入力テスト 1」を参照。
0.8.8	入力テスト 2	現在の各入力信号の、オン／オフを表示します。 26 ページの「入力テスト 2」を参照。
0.8.8	カバーカウンター	ボディーカバー交換後のプレス回数になります。 ※カバー交換の際は、カバーカウンターをリセットしてください。 (リセットの手順は、22 ページを参照)
0.8.8	プレスカウンター	現在までの累積プレス回数です。(リセットはできません)

注意

テスト番号 012 をオンにしますと、前コテが左(ボディー側)に移動するので注意。

■ディップスイッチ機能





- ・[ 表示されたら、「決定ボタン」を押します。
- ・「ダイヤル」を回して確認・変更を行う番号(表-1)に合せ、「決定ボタン」を押すと現在の設定が表示されます。
- ・「ダイヤル」を回してオン／オフの選択を行い、「決定ボタン」を押すと変更が決定します。
- ・ディップスイッチ機能の終了は、「カウンタークリアボタン」を押します。

表-1「ディップスイッチ機能一覧」

表示番号	設定内容		初期設定
	スリーブアームが上昇するタイミング	ON: フットペダル 2 回目	OFF
		OFF: フットペダル 1 回目	
	電源 ON 時の設定が半袖モード / 長袖モードの選択	ON: 半袖モード	OFF
		OFF: 長袖モード	
	スリーブアーム下降時のブレーキ作動	ON: ブレーキ動作有り	OFF
		OFF: ブレーキ動作無し	

■ボリューム機能








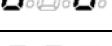






- ・[ 表示されたら、「決定ボタン」を押します。
- ・「ダイヤル」を回して確認・変更を行う番号(表-2)に合せ、「決定ボタン」を押すと現在の設定が表示されます。
- ・「ダイヤル」を回して設定変更を行い、「決定ボタン」を押すと変更が決定します。
- ・ボリューム機能の終了は、「カウンタークリアボタン」を押します。

表-2「ボリューム機能一覧」

表示番号	設定内容	初期設定
	前コテスライド左方向移動時に減速させるまでの時間	0.2 秒(最大 1.3 秒)
	前コテスライド右方向移動時に減速させるまでの時間	0.17 秒(最大 1.3 秒)
	ボディープレス開始から、ブロワーが開始するまでの時間を設定します。	3.1 秒(最大 5.1 秒)
	2 回目のフットペダルより脇張りを開いている時間	1.3 秒(最大 3.0 秒)
	ボディープレス開始から、スリーブアームが下降を開始するまでの時間を設定します。	1.4 秒(最大 3.0 秒)
	ボディープレス開始から、タックコテが下降を開始するまでの時間を設定します。	2.5 秒(最大 5.0 秒)
	仕上げ残り秒数から何秒前にタックコテのプレス解除をするかの設定。	6 秒 (最大 32 秒) (最小 3 秒)
	プレス終了後、カフスクランプを解除してからスリーブアームが下降する前に少し上昇する時間を設定します。	0.1 秒(最大 2.0 秒)
	プレス終了後、カフスクランプを解除してからスリーブアームが少し上昇する(V8)までの遅延時間を設定します。	0.2 秒(最大 5.0 秒)
	スリーブアームが下降してから、「V11」「V12」が開始するまでの時間	3.0 秒 (最大 5.0 秒)
	「V10」後に、瞬時にスリーブアームを上昇させる時間を設定(半袖)	0.0 秒(最大 0.2 秒)
	「V10」後に、瞬時にスリーブアームを上昇させる時間を設定(長袖)	0.04 秒 (最大 0.2 秒)
	サイズ選択ボタン ON 時のスリーブアーム開き時間	0.2 秒 (最大 1.5 秒)

■入力テスト 1



- ・[ 表示されたら、「決定ボタン」を押します。
- ・各入力のボタンを押すと、押されたボタンの番号(表-3)が操作パネルの表示窓に表示されます。
- ・入力テスト 1 の終了は、「決定ボタン」を押します。

表-3 「入力テスト 1 一覧」

名 称	表示番号	名 称	表示番号
リセットボタン	 8.8.8	前コテ開きセンサー	 5.8.5
フットペダル	 8.8.8	前コテ閉じセンサー	 5.8.6
バキュームモーターサーマル	 8.2.8	前コテプレス位置センサー	 5.8.7
ブロワーモーターサーマル	 8.2.8	前コテスライド左減速センサー	 5.8.8
左カフスクランプ・スタートボタン	 5.8.1	前コテスライド右減速センサー	 5.8.9
プレススタートボタン	 5.8.2	前コテスライド初期位置センサー	 5.1.0
ショートボタン	 5.8.3	サイズ選択ボタン	 5.1.1
ロングボタン	 5.8.4		



■入力テスト 2

- ・[ 5.8.2] が表示されたら、「決定ボタン」を押します。
- ・「ダイヤル」を回すと、接続されている入力の表示番号と「ロングボタン」のランプ点灯／消灯でオン(点灯)／オフ(消灯)状態を表示します。
- ・入力テスト 2 の終了は、「決定ボタン」を押します。

オン(点灯)のときは「 H 」

オフ(消灯)のときは「 L 」 を表示します。

■カバーカウンター / プレスカウンター表示

- ・[] [] が表示されたら、「決定ボタン」を押します。
 - ・表示については、表示窓の関係で 2 回に分けての表示となります。
- 初めの表示は上位の 3 桁(千から十万の位)の表示で、ダイヤルを右に回すと下位の 3 桁(百の位まで)を表示します。

ワンポイント

お客様のカバー交換の目安としてご使用ください。
また、交換後はカバーカウンターをクリアー「0」にして次回の目安として再度ご使用ください。


カバーカウンターが 12,345 回場合の表示





注意

リセットの手順は、22 ページを参照

●表示するカウンターの選択

カバーカウンターボタンを押すと、⑨表示窓に  が点滅表示されます。

⑧ダイヤルを回すごとに、 と  が交互に点滅表示します。

いずれかを表示した状態で⑥Enter ボタンを押すと、選択されたカウンターの数値が表示されます。

●カウンター表示可能な最大数値は、999,999 になります。

表示については、表示窓の関係で 2 回に分けての表示となります。

初めの表示は上位の 3 桁(千から十万の位)の表示で、⑧ダイヤルを右に回すと下位の 3 桁(百の位まで)を表示します。また、上位 3 桁の表示では、目印として 3 桁目に点が付きます。同様に下位 3 桁の表示では、1 桁目に点が付きます。

主な表示例を下記に示します。(数値の表示は、共通です。)

● 最大値の表示例(999,999)



● カウンターが 999 回の場合の表示例



● カウンター12,000 回の場合の表示例



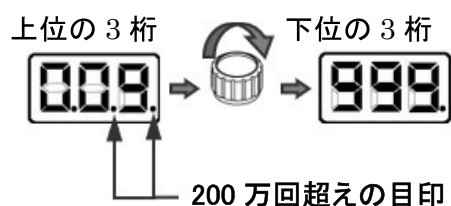
◎100 万回を超えると上位の目印の右側の桁に点が増えます。また、200 万回を超えると更に右側の桁に点が増えます。

表示例を下記に示します。

● 1,001,999 の表示例



● 2,009,999 の表示例



エラー番号一覧表

◎機械を操作中、何らかのトラブルが発生すると、操作パネルの表示窓にエラー番号が表示されます。その場合は下記の表で内容をご確認いただき、対応をお願いします。

簡単な点検で正常に戻らない場合は、販売代理店または弊社相談窓口へご連絡ください。



警告

電気ボックス及びインバーターボックス内は非常に危険です。

電気ボックスまたは、インバーターボックスを開けて作業を行う時は、指示されたところ以外には絶対に触れないこと。



注意

エラー表示で、「EEE」、「EE1」、「EE2」、「EE3」、「EE4」、「EE5」のいずれかが表示された場合は、一旦電源スイッチをオフにして5秒以上経ってから再度、電源スイッチをオンにします。それでも復帰しない場合は、販売代理店または弊社相談窓口へお問い合わせください。

エラー番号	1. エラー名称
	2. エラー内容
	3. 点検及び確認いただく内容
E 1	1. 非常停止ボタン
	2. 非常停止ボタンが押されています。
	3. (1) 非常停止ボタンのロックが解除されていません。押したままになっているボタンを時計回り(→方向)へ回転させてボタンのロックを解除します。表示が「- 1」に変わったら、リセットボタンを押して通常運転へ戻ります。 (2) 非常停止ボタンのロックが解除されているにもかかわらずエラーを表示する場合は、非常停止ボタンの故障または配線の異常です。
E 2	1. 左タックプレス安全バー
	2. 左タックの安全バーのスイッチが押されたままになっています。
	3. (1) 安全バーを押し続けている場合、手を離せばエラーは解除され表示は「- 2」に変わります。また安全バーが引っ掛かっているなどして、スイッチが押されたままになっていないか確認。安全を確認後、リセットボタンを押すと通常運転に戻ります。 (2) 安全バーが押されていないにもかかわらず、「E 2」が表示される場合はスイッチの故障または安全バーの変形、配線の異常(コネクタの緩み・断線など)です。 (3) タックコテの衝撃が大きい為、振動でスイッチがオンする。 →・タックコテシリンダー、スリーブアームシリンダーのスピコン調整。 ・エア圧力を確認。(スリーブアーム下降圧力 0.2MPa :11 ページ参照)
E 3	1. 右タックプレス安全バー
	2. 右タックの安全バーのスイッチが押されたままになっています。
	3. (1) 安全バーを押し続けている場合、手を離せばエラーは解除され表示は「- 3」に変わります。また安全バーが引っ掛かっているなどして、スイッチが押されたままになっていないか確認。安全を確認後、リセットボタンを押すと通常運転に戻ります。 (2) 安全バーが押されていないにもかかわらず、「E 3」が表示される場合はスイッチの故障または安全バーの変形、配線の異常(コネクタの緩み・断線など)です。 (3) タックコテの衝撃が大きい為、振動でスイッチがオンする。 →・タックコテシリンダー、スリーブアームシリンダーのスピコン調整。 ・エア圧力を確認。(スリーブアーム下降圧力 0.2MPa :11 ページ参照)
E 4	1. 前コテプレス左安全バー
	2. 前コテの左側の安全バーのスイッチが押されたままになっています。
	3. (1) 安全バーを押し続けている場合、手を離せばエラーは解除され表示は「- 4」に変わります。また安全バーが引っ掛かっているなどして、スイッチが押されたままになっていないか確認。安全を確認後、リセットボタンを押すと通常運転に戻ります。 (2) 安全バーが押されていないにもかかわらず、「E 4」が表示される場合はスイッチの故障または安全バーの変形、配線の異常(コネクタの緩み・断線など)です。 (3) エア圧力を確認。(スライド圧力 0.3MPa :11 ページ参照)

エラー番号	1. エラー名称
	2. エラー内容
	3. 点検及び確認いただく内容
E 5	1. 前コテプレス右安全バー
	2. 前コテの右側の安全バーのスイッチが押されたままになっています。
	3. (1) 安全バーを押し続けている場合、手を離せばエラーは解除され表示は「ー 5」に変わります。 また安全バーが引っ掛かっているなどして、スイッチが押されたままになっていないか、確認してください。安全を確認後、リセットボタンを押すと通常運転に戻ります。 (2) 安全バーが押されていないにもかかわらず、「E 5」が表示される場合はスイッチの故障または安全バーの変形、配線の異常(コネクタの緩み・断線など)です。 (3) エアー圧力を確認。(スライド圧力 0.3MPa :11 ページ参照)
E 6	1. 肩コテプレス左安全バー
	2. 肩コテの左側の安全バーのスイッチが押されたままになっています。
	3. (1) 安全バーを押し続けている場合、手を離せばエラーは解除され表示は「ー 6」に変わります。 また安全バーが引っ掛かっているなどして、スイッチが押されたままになっていないか、確認してください。安全を確認後、リセットボタンを押すと通常運転に戻ります。 (2) 安全バーを押し続けているにもかかわらず、「E 6」が表示される場合はスイッチの故障または安全バーの変形、配線の異常(コネクタの緩み・断線など)です。 (3) エアー圧力を確認。(メイン圧力 0.6MPa :11 ページ参照))
E 7	1. 肩コテプレス右安全バー
	2. 肩コテの右側の安全バーのスイッチが押されたままになっています。
	3. (1) 安全バーを押し続けている場合、手を離せばエラーは解除され表示は「ー 7」に変わります。 また安全バーが引っ掛かっているなどして、スイッチが押されたままになっていないか、確認してください。安全を確認後、リセットボタンを押すと通常運転に戻ります。 (2) 安全バーを押し続けているにもかかわらず、「E 7」が表示される場合はスイッチの故障または安全バーの変形、配線の異常(コネクタの緩み・断線など)です。 (3) エアー圧力を確認。(メイン圧力 0.6MPa :11 ページ参照))
E 30	1. 前コテプレス位置センサーエラー
	2. 前コテがプレス位置(ボディー側)に来ているにもかかわらず、前コテプレス位置センサー(SQ7)が検出できない。
	3. (1) 前コテスライドシリンダーのロッド側(左端)のセンサーに、磁石をつけたときセンサーの赤い表示灯が・・・ ①点灯する・・・センサーの位置ずれが考えられます。センサーの固定バンドをゆるめて、センサーをスライドさせ、表示灯が点灯する範囲の中間で固定します。 ②点灯しない・・・センサーの故障、または配線の異常(コネクタの緩み・断線など)です。 (2) エアー圧力を確認。(メイン圧力 0.6MPa :11 ページ参照) (3) アブソーバーの位置を確認。
E 31	1. 前コテ開きセンサーエラー
	2. 前コテプレスが開いているにもかかわらず、前コテ開きセンサー(SQ5)が検出できない。
	3. (1) 前コテプレスシリンダーのヘッド側のセンサーに磁石をつけたとき、センサーの赤い表示灯が・・・ ①点灯する・・・センサーの位置ずれが考えられます。センサーの固定バンドをゆるめて、センサーをスライドさせ、表示灯が点灯する範囲の中間で固定します。 ②点灯しない・・・センサーの故障、または配線の異常(コネクタの緩み・断線など)です。 (2) エアー圧力を確認。(メイン圧力 0.6MPa :11 ページ参照)
E 32	1. リセットボタンエラー
	2. 電源を入れた時にリセットボタンが押されたままになっていると表示します。
	3. (1) リセットボタンを押し続けている場合、手を離し再度リセットボタンを押せばエラーは解除されます。 また、リセットボタンの上に物が乗っていないか確認。 (2) リセットボタンを押し続けているにもかかわらず、エラーを表示する場合はボタンの故障、または配線の異常(コネクタの緩み・断線など)です。

エラー番号	1. エラー名称
	2. エラー内容
	3. 点検及び確認いただく内容
E 33	1. 前コテ左減速センサーエラー
	2. 前コテがプレス位置にスライド中、前コテスライド左減速センサー (SQ8) が検出できずに、前コテプレス位置センサー (SQ7) が検出された。
	3. 前コテスライドシリンダーのロッド側から 2 個目のセンサーに磁石をつけたとき、センサーの赤い表示灯が点灯しない場合は、センサーの故障、または配線の異常 (コネクターの緩み・断線など) です。
E 34	1. 前コテ右減速センサーエラー
	2. 前コテが初期位置にスライド中、前コテスライド右減速センサー (SQ9) が検出されずに、前コテスライド初期位置センサー (SQ10) が検出された。
	3. 前コテスライドシリンダーのヘッド側から 2 個目のセンサーに磁石をつけたとき、センサーの赤い表示灯が点灯しない場合は、センサーの故障、または配線の異常 (コネクターの緩み・断線など) です。
E 35	1. 左カフスクランプ / スライドスタートボタンエラー (SB1)
	2. (1) 電源を入れたとき、または初期位置のときに押されたままになっていると表示します (2) 左カフスクランプボタンが 5 秒以上押されたままになっていると表示します。
	3. (1) 左カフスクランプボタンを押し続けている場合は、手を離せばエラーは解除されます。 (2) 左カフスクランプボタンを押し続けていないにもかかわらず、エラーを表示する場合はボタンの故障、または配線の異常 (コネクターの緩み・断線など) です。
E 36	1. プレススタートボタンエラー (SB2)
	2. 電源を入れたときに、プレススタートボタンが押されたままになっていると表示します。
	3. (1) プレススタートボタンを押し続けている場合は、手を離せばエラーは解除されます。 (2) プレススタートボタンを押し続けていないにもかかわらず、エラーを表示する場合はボタンの故障、または配線の異常 (コネクターの緩み・断線など) です。
E 37	1. ショートボタンエラー (SB3)
	2. 電源を入れたときに、ショートボタンが押されたままになっていると表示します。
	3. (1) ショートボタンを押し続けている場合は、手を離せばエラーは解除されます。 (2) ショートボタンを押し続けていないにもかかわらず、エラーを表示する場合はボタンの故障、または配線の異常 (コネクターの緩み・断線など) です。
E 38	1. フットペダルエラー (SB6)
	2. 電源を入れた時にフットペダルが押されたままになっていると表示します。
	3. (1) フットペダルを足で踏み続けている場合は、足を離せばエラーは解除されます。 また、ペダルの上に物などが載っていないか確認してください。 (2) フットペダルを踏み続けていないにもかかわらず、エラーを表示する場合はフットペダルの故障、または配線の異常 (コネクターの緩み・断線など) です。
E 42	1. ロングボタンエラー (SB4)
	2. 電源を入れた時にロングボタンが押されたままになっていると表示します。
	3. (1) ロングボタンを手で押し続けている場合は、手を離せばエラーは解除されます。 (2) ロングボタンを押し続けていないにもかかわらず、エラーを表示する場合はボタンの故障、または配線の異常 (コネクターの緩み・断線など) です。
E 49	1. 前コテ閉じセンサーエラー
	2. 前コテプレスが閉じているにもかかわらず、前コテ閉じセンサー (SQ6) が検出できない。
	3. (1) 前コテプレスシリンダーのロッド側のセンサーに磁石をつけたとき、センサーの赤い表示灯が・・・ ①点灯する・・・センサーの位置ずれが考えられます。センサーの固定バンドをゆるめて、センサーをスライドさせ、表示灯が点灯する範囲の中間で固定します。 ②点灯しない・・・センサーの故障、または配線の異常 (コネクターの緩み・断線など) です。 (2) エアー圧力を確認。(メイン圧力 0.6MPa : 11 ページ参照)

エラー番号	1. エラー名称
	2. エラー内容
	3. 点検及び確認いただく内容
E 50	1. 前コテ初期位置センサーエラー
	2. 前コテが初期位置に戻っているにもかかわらず、前コテスライド初期位置センサー (SQ10) が検出できない。
	3. (1) 前コテスライドシリンダーのヘッド側のセンサーに磁石をつけたとき、センサーの赤い表示灯が ①点灯する ……センサーの位置ずれが考えられます。センサーの固定バンドをゆるめて、センサーをスライドさせ、表示灯が点灯する範囲の中間で固定します。 ②点灯しない ……センサーの故障、または配線の異常 (コネクターの緩み・断線など) です。 (2) エアー圧力を確認。(スライド/スリーブ上昇圧力 0.3MPa : 11 ページ参照) (3) アブソーバーの位置を確認。
E 51	1. バキュームモーターサーマルスイッチ
	2. バキュームモーター用電磁開閉器 KM1 のサーマルが作動しました。
	3. サーマルが動作しますと電磁開閉器の緑色のトリップが引っ込んで見えなくなります。 サーマルが動作した原因として、モーター配線の断線、高温時の連続運転等のモーターへの過負荷等が考えられます。原因を除去してから電磁開閉器の青色のリセットバーを押します。 リセットボタンを押すとエラーは解除されます。
E 52	1. ブロワーモーターサーマルスイッチ
	2. ブロワーモーター用の電磁開閉器 KM2 のサーマルが動作した場合に表示します。
	3. サーマルが動作しますと電磁開閉器の緑色のトリップが引っ込んで見えなくなります。 サーマルが動作した原因として、モーター配線の断線、高温時の連続運転等のモーターへの過負荷等が考えられます。原因を除去してから電磁開閉器の青色のリセットバーを押します。 リセットボタンを押すとエラーは解除されます。
E 56	1. サイズ選択ボタンエラー
	2. 電源を入れた時にサイズ選択ボタンが、オンの状態になっている。
	3. (1) ボタンが引っ掛かっているか、何かの原因で押されたままになっていないか確認。 (2) ボタンの故障、または配線がショートしていないか確認。
E 99	1. 24V エラー
	2. いずれかの安全バーが振動等で一瞬作動しました。
	3. リセットボタンを押すとエラーは解除されます。 何度も発生する場合は、衝撃が大きい箇所のスピコン調整をします。。
E C 1	1. カバー交換時期 (目安) の警告
	2. カバーの交換時期です。前回のカバー交換から、25,000 回のプレス (仕上げ) を行っています。
	3. リセットボタンを 1 秒以上長押ししてください。→ブザーとエラー表示が解除されます。 カバー交換後、22 ページの「カバーカウンターのリセット」を参考に、カウンター 0 に戻します。
A 03	1. 前コテが初期定位置不良
	2. 前コテトランスファーが初期定位置 (右端) にありません。
	3. (1) エアー圧力の低下が考えられます。 エアー圧力計が規定圧力 (スライド 0.3Mpa) になっているか確認。 (2) 右端にあるにもかかわらず、表示されている場合は前コテスライド初期位置センサー (SQ6) が検出できない。 ①点灯する ……センサーの位置ずれが考えられます。センサーの固定バンドをゆるめて、センサーをスライドさせ、表示灯が点灯する範囲の中間で固定します。 ②点灯しない ……センサーの故障、または配線の異常 (コネクターの緩み・断線など) です。 (3) アブソーバーの位置を確認。